教　育　計　画

三草会札幌看護専門学校　第８期生

目　　次

１．教育理念 ---------- Ｐ　１

２．期待する卒業生像、教育目的・目標 ---------- Ｐ　２

３．　教育方針・アドミッションポリシー ---------- Ｐ　３

４．学年別到達目標 ---------- Ｐ　４～５

５．教育課程 ---------- Ｐ　６

６．教育課程進度表 ---------- Ｐ　７

７．3年間の科目時間配分 ---------- Ｐ　８～９

８．カリキュラム構成図、カリキュラムデザイン ---------- Ｐ１０～１１

９．教科外活動 ---------- Ｐ１２

１０．教科外活動の目的 ---------- Ｐ１３

１１．科目の授業構成図 ---------- Ｐ１４～２１

１２．科目進度計画表 ---------- Ｐ２２～２６

１３．学内実習・演習進度表 ---------- Ｐ２７

１４．看護師教育の技術項目(学内実習・演習) ---------- Ｐ２８

１５．年間臨地実習計画表 ---------- Ｐ２９

１６．分野別実習単位・時間・実習施設 ---------- Ｐ３０

１７．学年年間計画 ---------- Ｐ３１

１８．年間行事予定一覧表 ---------- Ｐ３２

１９．学校運営組織図 ---------- Ｐ３３

２０．教職員公務分掌 ---------- Ｐ３４～３５

２１．領域別看護学担当教員及び業務マトリックス ---------- Ｐ３６

２２．看護研究 ---------- Ｐ３７～３８

２３．入学者出身校状況 ---------- Ｐ３９～４０

２４．就職・進学状況 ---------- Ｐ４１

２５．在籍状況・国家試験結果状況 ---------- Ｐ４２

教育理念

三草会は「あることの尊さへのアプローチ(一緒に治る喜びを分かちあおう)」が基本理念である。理念の核は「人間の尊厳」と「人間愛」である。

「人間の尊厳」とは人としての尊厳を重んじ、生命を尊び個人の価値観・権利を尊重する事である。

「人間愛」とは豊かな感情体験の中で人を愛する思いやりの心、他者の痛み苦しみに寄り添い慈しみ、あたかも自分の事の様に感じられる優しい心をもつ事である。

この 2 つの精神を基盤とし社会医療法人と社会福祉法人の 2 つを併せ持つ三草会は、健康であっても、障害があっても、一人の人間として個人の生活に着眼し、疾病の予防、健康の維持増進、健康回復のために保健・医療・福祉が連携・協働しあい、それぞれの役割機能を発揮し、心を合わせて一体化となり、人々の幸福と健康的な生活の向上を目指して社会貢献している。

以上から三草会の「人間の尊厳」と「人間愛」の理念を基盤とし、三草会札幌看護専門学校は教育理念を

「人間の尊厳と人間愛の精神が学生一人ひとりに根づき、変化し続ける社会の中で看護を実践できるための基礎的能力を養い、人々の健康と幸福な生活の向上を目指し、保健・医療・福祉の中で社会に貢献できる専門職業人の育成を行う」とする。

学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた信頼関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

期待する卒業生像

１．看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる。

２．様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力が養われている。

３．自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性に育ち、対人関係が築ける。

４．保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力が養われている。

４．倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動がとれる。

５．看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢が身についている。

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標

１．看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる能力を養う。

２．様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う。

３．自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性を育み、対人関係の構築を育くむ。

４．保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力を養う。

５．倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動を養う。

６．看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢を育む。

教育方針

１．学生が「学びがい」を見出せるよう内的動機づけを行い、目標に向かって自己成長していく過程を支援する。

２．個別のレディネスに応じた細やかな指導に心がけ、学生がもっている潜在能力を引き出し、最大限に発揮できるように働きかける。

３．学生が自己の課題を解決する事ができるために「学び方」が身につく学習支援体制を整える。

４．全ての学生が機会均等に学ぶ権利を保証するための環境を整える。

５．教員は誠実、真摯に学生と向き合い信頼関係形成に努める。

将来看護師になりたいと夢と志しを抱き入学してくる学生に対し、私達は、現代の若者達の背景や特徴を理解しありのまま受け入れ、学生個々を一人の人格を有する人間として尊重し、教育倫理に基づいた関係の構築を基本姿勢とし、目標に向かって自己成長していく過程を支援していく。

アドミッションポリシー

求める学生像

１．倫理観に基づく行動がとれる。

専門職業人としての規律を重んじた自覚

社会の一員として責任ある行動

２．主体的に学習に取り組める。

向上心

積極的に学習課題に取り組む

３．コミュニケーションを円滑にすすめられる。

他者の思いを受容

チームの一員として協働できる

人間関係の構築

学年別到達目標

教育目的

人間の尊厳と人間愛の心を養い、看護師として必要な基礎的知識・技術・態度を習得させ、社会に貢献できる専門職業人を育成する。

教育目標	１年次到達目標	２年次到達目標	３年次到達目標
1. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる能力を養う	1) 人体の構造と機能が理解できる 2) 精神の発達と機能が理解できる 3) 人間の社会的側面を理解することができる 4) ライフステージにおける発達課題を理解することができる	人間の身体的・精神的・社会的な側面の関連を考えることができる	人間は身体的・精神的・社会的な側面をもつ統合された存在であることが理解できる
2 様々な健康レベルにある対象に、科学的思考に基づいた看護を実践する基礎的能力を養う	1) 看護技術には原理・原則があり安全・安楽に実施する必要性を理解できる 2) 看護過程の思考が理解できる 3) 理論の活用の必要性が　わかる	1) 看護技術を原理・原則に基づき安全・安楽に実施できる 2) 基本的な看護過程を展開できる 3) 理論を活用することで論理的思考を高める	1) 看護技術を対象の個別性に合わせて応用できる 2) あらゆる対象に看護過程が展開できる 3) 論理的に表現できる
３. 自ら他者の思いを受容・共感できる豊かな人間性と、対人関係の構築を育む	1) 他者の考えを受け入れながら自己の考えも伝えることができる	1) 他者を受容し、状況に合わせた言動がとれる	1) 多様な価値観を受け入れ、対人関係を築ける
４. 保健・医療・福祉チームにおける看護師の役割と責任を自覚し、チームの一員として多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供できる基礎的能力を養う。	1) 保健・医療・福祉の概念が理解できる 2) 保健・医療・福祉チームの一員として行動することの自覚がもてる	1) 保健・医療・福祉チームの連携・協働を理解することができる 2) 保健・医療・福祉チームの中の一員として看護師の役割と責任を認識できる	1) 保健・医療・福祉チームの中で連携・協働しながら看護師としての自覚を高め、責任ある行動がとれる

教育目標	１年次到達目標	２年次到達目標	３年次到達目標
５． 倫理観に基づいた専門職業人として規律を重んじた自覚と責任のある行動を養う	看護倫理の重要性が理解できる	1）看護職に必要な倫理に従って規律ある行動がとれる 2）看護者のあり方について自分なりの考えをもつことができる	1）看護倫理に従って常に規律ある行動がとれる 2）自己の看護観を述べられる
６． 看護の実践力を向上させるために、主体的に学習に取り組む姿勢を育む	1）主体的に学習し自己の課題を解決するための行動がとれる	1）自己の課題を解決するために主体的、継続的に学習することができる	1）常に自己の課題に取り組み、継続して学習する姿勢が身についている

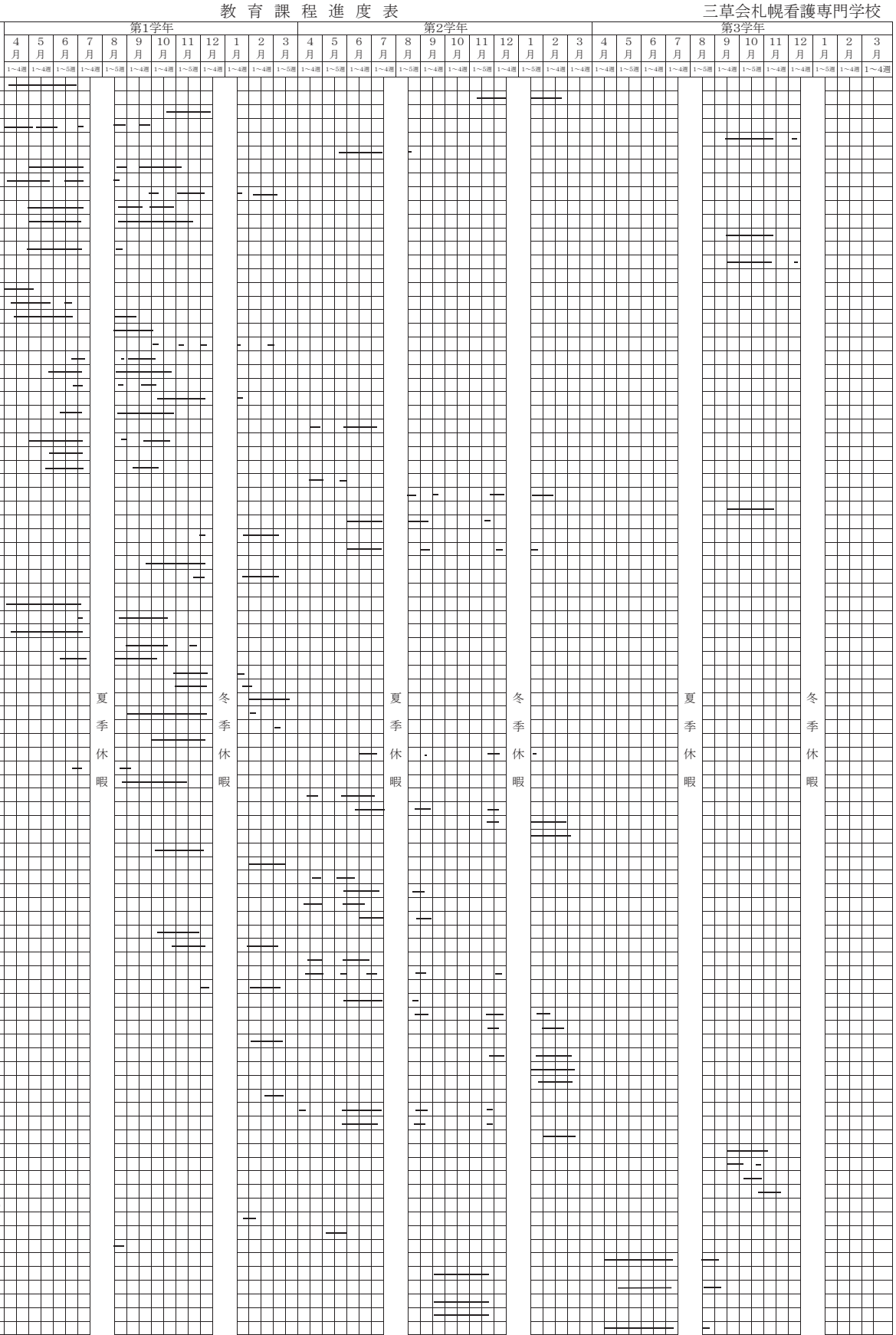
三草会札幌看護専門学校　教育課程　別表第1号

	科目	単位数	時間数 講義	時間数 実習	時間数 計	備考
基礎分野	看護物理学	1	30		30	
	論理学	1	30		30	
	国語表現法	1	15		15	
	英語Ⅰ	1	30		30	
	英語Ⅱ	1	30		30	
	情報科学と統計	1	30		30	
	心理学	1	30		30	
	コミュニケーション	1	30		30	
	文化人類学	1	30		30	
	倫理学	1	30		30	
	音楽と表現技法	1	30		30	
	社会学	1	30		30	
	家族論	1	15		15	
	教育学	1	30		30	
	小　計	14	390		390	
専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ	1	15		15	
	解剖生理学Ⅱ	1	30		30	
	解剖生理学Ⅲ	1	30		30	
	解剖生理学Ⅳ	1	30		30	
	解剖生理学演習	1	30		30	
	病理学総論	1	15		15	
	生化学	1	30		30	
	栄養学	1	15		15	
	人の生活と食事	1	15		15	
	臨床薬理学	1	30		30	
	臨床検査	1	15		15	
	微生物学	1	30		30	
	病態と治療Ⅰ	1	30		30	
	病態と治療Ⅱ	1	30		30	
	病態と治療Ⅲ	1	30		30	
	治療法概論	1	30		30	
	総合医療論	1	15		15	
	社会福祉	1	30		30	
	ﾁｰﾑ医療論	1	15		15	
	関係法規	1	30		30	
	リハビリテーション	1	15		15	
	公衆衛生学	1	15		15	
	小　計	22	525	0	525	
専門分野	基礎看護学					
	看護学概論Ⅰ	1	30		30	
	看護学概論Ⅱ	1	15		15	
	共通援助技術	1	30		30	
	生活援助技術Ⅰ	1	30		30	
	生活援助技術Ⅱ	1	30		30	
	生活援助技術Ⅲ	1	30		30	
	フィジカルアセスメント技術	1	30		30	
	診療援助技術	1	30		30	
	看護展開技術	1	30		30	
	生活援助技術実践	1	30		30	
	臨床看護総論	1	30		30	
	看護研究	1	30		30	
	地域・在宅看護論					
	地域・在宅看護論演習	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論Ⅰ	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論Ⅱ	1	15		15	
	地域・在宅看護論総論Ⅲ	1	30		30	
	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	1	30		30	
	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学					
	成人看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	成人看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅲ	1	30		30	
	成人看護学方法論Ⅳ	1	30		30	
	老年看護学					
	老年看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	老年看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	老年看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	老年看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	小児看護学					
	小児看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	小児看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	小児看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	小児看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	母性看護学					
	母性看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	母性看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	母性看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	母性看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	精神看護学					
	精神看護学総論Ⅰ	1	15		15	
	精神看護学総論Ⅱ	1	30		30	
	精神看護学方法論Ⅰ	1	30		30	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	30		30	
	看護の統合と実践					
	看護管理	1	15		15	
	災害看護	1	15		15	
	災害看護演習	1	15		15	
	看護技術統合実践	1	30		30	
	臨地実習					
	基礎看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1		30	30	
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2		90	90	
	成人看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	成人看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅰ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅱ	2		90	90	
	老年看護学実習Ⅲ	2		90	90	
	小児看護学実習	2		90	90	
	母性看護学実習	2		90	90	
	精神看護学実習	2		90	90	
	看護統合実習	2		90	90	
	小　計	69	1140	1110	2250	
総　計		105	2055	1110	3165	

教 育 課 程 進 度 表

三草会札幌看護専門学校

学科目	指定単位	本校修得単位	本校単位	実施時間
看護物理学	14	14	1	30
論理学			1	30
国語表現法			1	15
英語Ⅰ			1	30
英語Ⅱ			1	30
情報科学と統計			1	30
心理学			1	30
コミュニケーション			1	30
文化人類学			1	30
倫理学			1	30
音楽と表現技法			1	30
社会学			1	30
家族論			1	15
教育学			1	30
小計	14	14	14	390
解剖生理学Ⅰ	22	22	1	15
解剖生理学Ⅱ			1	30
解剖生理学Ⅲ			1	30
解剖生理学Ⅳ			1	30
解剖生理学演習			1	30
病理学総論			1	15
生化学			1	30
栄養学			1	15
人の生活と食事			1	15
臨床薬理学			1	30
臨床検査			1	15
微生物学			1	30
病態と治療Ⅰ			1	30
病態と治療Ⅱ			1	30
病態と治療Ⅲ			1	30
治療法概論			1	30
総合医療論			1	15
社会福祉			1	30
チーム医療論			1	15
関係法規			1	30
リハビリテーション			1	15
公衆衛生学			1	15
小計	22	22	22	525
看護学概論Ⅰ	43	44	1	30
看護学概論Ⅱ			1	15
共通援助技術			1	30
生活援助技術Ⅰ			1	30
生活援助技術Ⅱ			1	30
生活援助技術Ⅲ			1	30
フィジカルアセスメント技術			1	30
診療援助技術			1	30
看護展開技術			1	30
生活援助技術実践			1	30
臨床看護総論			1	30
看護研究			1	30
地域・在宅看護論演習			1	15
地域・在宅看護論総論Ⅰ			1	15
地域・在宅看護論総論Ⅱ			1	15
地域・在宅看護論総論Ⅲ			1	30
地域・在宅看護論方法論Ⅰ			1	30
地域・在宅看護論方法論Ⅱ			1	30
成人看護学総論Ⅰ			1	15
成人看護学総論Ⅱ			1	30
成人看護学方法論Ⅰ			1	30
成人看護学方法論Ⅱ			1	30
成人看護学方法論Ⅲ			1	30
成人看護学方法論Ⅳ			1	30
老年看護学総論Ⅰ			1	15
老年看護学総論Ⅱ			1	30
老年看護学方法論Ⅰ			1	30
老年看護学方法論Ⅱ			1	30
小児看護学総論Ⅰ			1	15
小児看護学総論Ⅱ			1	30
小児看護学方法論Ⅰ			1	30
小児看護学方法論Ⅱ			1	30
母性看護学総論Ⅰ			1	15
母性看護学総論Ⅱ			1	30
母性看護学方法論Ⅰ			1	30
母性看護学方法論Ⅱ			1	30
精神看護学総論Ⅰ			1	15
精神看護学総論Ⅱ			1	30
精神看護学方法論Ⅰ			1	30
精神看護学方法論Ⅱ			1	30
看護管理			1	15
災害看護			1	15
災害看護演習			1	15
看護技術統合実践			1	30
小計	43	44	44	1140
基礎看護学実習Ⅰ	23	25	2	90
基礎看護学実習Ⅱ			2	90
地域・在宅看護論実習Ⅰ			1	30
地域・在宅看護論実習Ⅱ			2	90
成人看護学実習Ⅰ			2	90
成人看護学実習Ⅱ			2	90
老年看護学実習Ⅰ			2	90
老年看護学実習Ⅱ			2	90
老年看護学実習Ⅲ			2	90
小児看護学実習			2	90
母性看護学実習			2	90
精神看護学実習			2	90
看護統合実習			2	90
小計	23	25	25	1110
科目実施時間計	79	80	80	2055
臨地実習時間計	23	25	25	1110
総　　計	102	105	105	3165



	第1学年												第2学年												第3学年											
科目実施時間計	95	131	122	64	53	118	155	126	60	32	124	60	96	53	123	82	60	60	0	40	59	95	115	24	0	0	0	0	0	50	87	49	2	0	0	0
臨地実習時間計						30					90			90					270							540								90			
総　　計	95	131	122	64	53	148	155	126	60	32	214	60	96	143	123	82	60	60	270	40	59	95	115	24	0	540				50	87	49	92	0	0	0

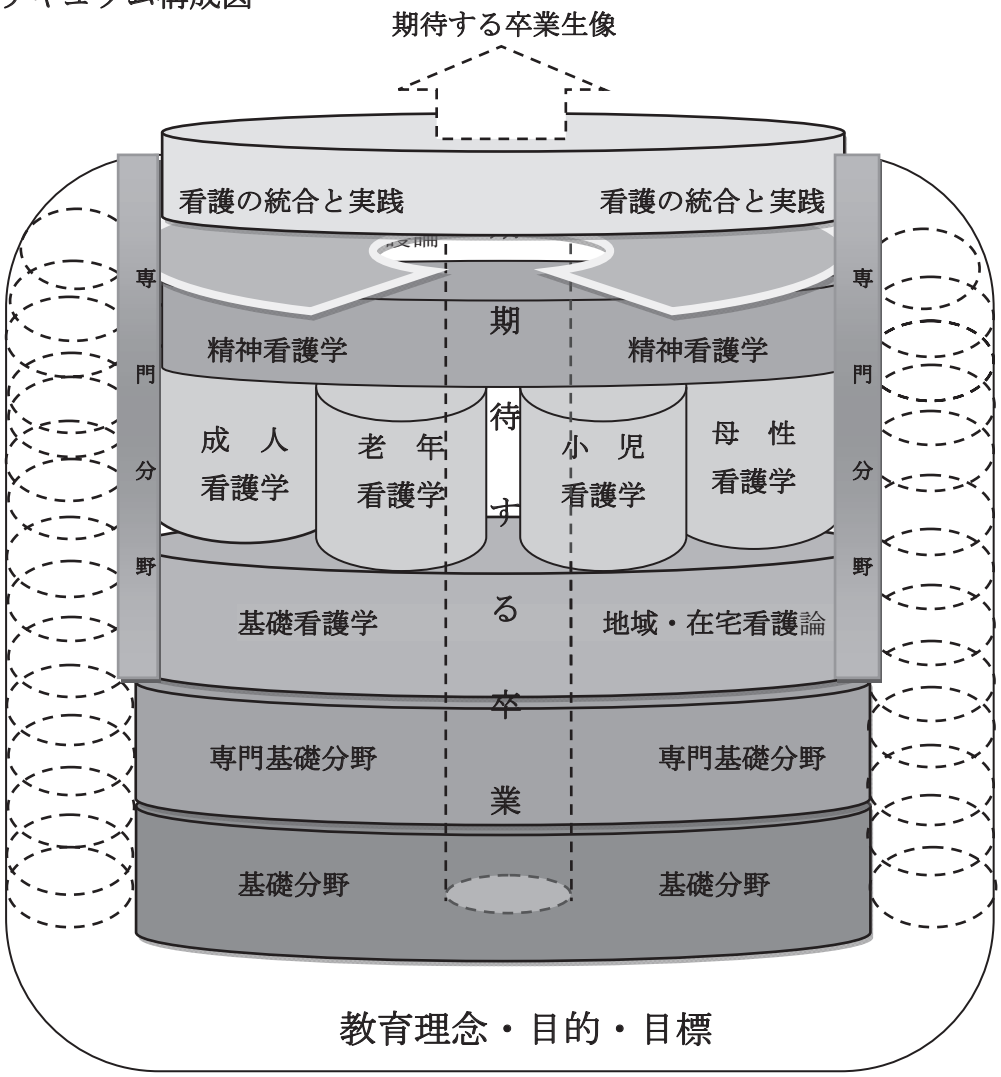
教科外活動とその他行事	第1学年	第2学年	第3学年
	(4月)入学式 入学ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 新入生交流研修　新入生歓迎会 実習激励会　個人情報取扱い講話　東警察署防犯対策講話 (5月)看護の日　避難訓練 健康診断　(6月)遠足　札幌医科大学標本館見学 (8月)戴帽式総練習　戴帽式　実習激励会　実習ガイダンス　(9月)実習報告会　(10月)防火訓練 (1月)3年生看護研究聴講　(2月)実習ガイダンス　実習報告会 (3月)予餞会　卒業特別講演　卒業式	(4月)実習ガイダンス 新入生歓迎会　実習激励会　健康診断　札幌医科大学標本館見学　(5月)実習報告会 (6月)遠足　(8月)実習激励会 (9月)実習ガイダンス　(11月)実習報告会 (1月)3年生看護研究聴講 (3月)予餞会　卒業特別講演　卒業式　実習施設ガイダンス	(4月)実習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ 新入生歓迎会　健康診断　実習激励会　看護研究聴講 (11月)実習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ (2月)看護師国家試験 (3月)予餞会　卒業特別講演　卒業式練習　卒業報告会　卒業式

3年間の科目時間配分

教育内容		基準単位		科目名称	単位	年間授業時間数			
						1年次	2年次	3年次	合計
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活・社会の理解	14	1	看護物理学	1	30			30
			2	論理学	1		30		30
			3	国語表現法	1	15			15
			4	英語Ⅰ	1	30			30
			5	英語Ⅱ	1			30	30
			6	情報科学と統計	1		30		30
			7	心理学	1	30			30
			8	コミュニケーション	1	30			30
			9	文化人類学	1	30			30
			10	倫理学	1	30			30
			11	音楽と表現技法	1	30			30
			12	社会学	1			30	30
			13	家族論	1	15			15
			14	教育学	1			30	30
		14		**小計**	**14**	**240**	**60**	**90**	**390**
専門基礎分野	人体の構造と機能	16	15	解剖生理学Ⅰ	1	15			15
			16	解剖生理学Ⅱ	1	30			30
			17	解剖生理学Ⅲ	1	30			30
			18	解剖生理学Ⅳ	1	30			30
			19	解剖生理学演習	1	30			30
			20	病理学総論	1	15			15
			21	生化学	1	30			30
			22	栄養学	1	15			15
			23	人の生活と食事	1	15			15
	疾病の成り立ちと 回復の促進		24	臨床薬理学	1	30			30
			25	臨床検査	1		15		15
			26	微生物学	1	30			30
			27	病態と治療Ⅰ	1	30			30
			28	病態と治療Ⅱ	1	30			30
			29	病態と治療Ⅲ	1		30		30
			30	治療法概論	1		30		30
	健康支援と 社会保障制度	6	31	総合医療論	1			15	15
			32	社会福祉	1		30		30
			33	チーム医療論	1	15			15
			34	関係法規	1		30		30
			35	リハビリテーション	1	15			15
			36	公衆衛生学	1	15			15
		22		**小計**	**22**	**375**	**135**	**15**	**525**
専門分野	基礎看護学	12	37	看護学概論Ⅰ	1	30			30
			38	看護学概論Ⅱ	1	15			15
			39	共通援助技術	1	30			30
			40	生活援助技術Ⅰ	1	30			30
			41	生活援助技術Ⅱ	1	30			30
			42	生活援助技術Ⅲ	1	30			30
			43	フィジカルアセスメント技術	1	30			30
			44	診療援助技術	1	30			30
			45	看護展開技術	1	30			30
			46	生活援助技術実践	1	30			30
			47	臨床看護総論	1	30			30
			48	看護研究	1		30		30
	地域・在宅看護論	6	49	地域・在宅看護論演習	1	15			15
			50	地域・在宅看護論総論Ⅰ	1	15			15
			51	地域・在宅看護論総論Ⅱ	1		15		15
			52	地域・在宅看護論総論Ⅲ	1		30		30
			53	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	1		30		30
			54	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	1		30		30

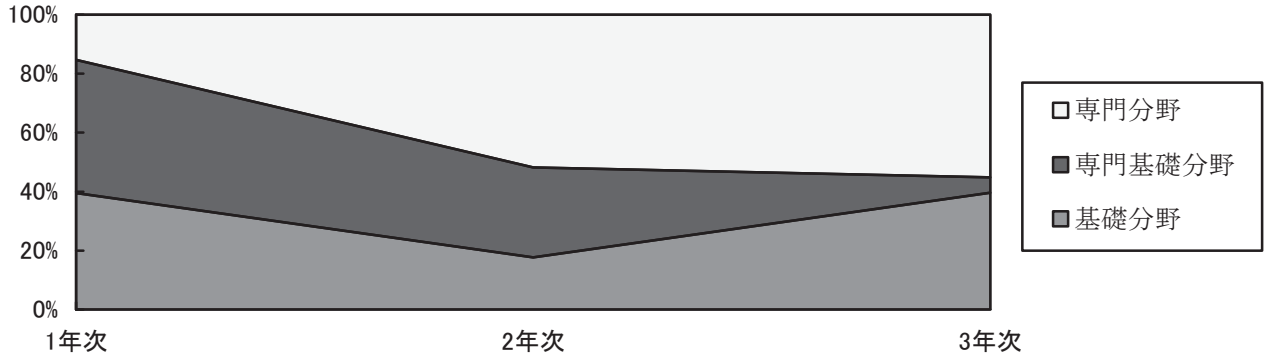
教育内容		基準単位		科目名称	単位	年間授業時間数			
						1年次	2年次	3年次	合計
専門分野	成人看護学	6	55	成人看護学総論Ⅰ	1	15			15
			56	成人看護学総論Ⅱ	1	30			30
			57	成人看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			58	成人看護学方法論Ⅱ	1		30		30
			59	成人看護学方法論Ⅲ	1		30		30
			60	成人看護学方法論Ⅳ	1		30		30
	老年看護学	4	61	老年看護学総論Ⅰ	1	15			15
			62	老年看護学総論Ⅱ	1	30			30
			63	老年看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			64	老年看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	小児看護学	4	65	小児看護学総論Ⅰ	1	15			15
			66	小児看護学総論Ⅱ	1		30		30
			67	小児看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			68	小児看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	母性看護学	4	69	母性看護学総論Ⅰ	1	15			15
			70	母性看護学総論Ⅱ	1		30		30
			71	母性看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			72	母性看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	精神看護学	4	73	精神看護学総論Ⅰ	1	15			15
			74	精神看護学総論Ⅱ	1		30		30
			75	精神看護学方法論Ⅰ	1		30		30
			76	精神看護学方法論Ⅱ	1		30		30
	看護の統合と実践	4	77	看護管理	1			15	15
			78	災害看護	1			15	15
			79	災害看護演習	1			15	15
			80	看護技術統合実践	1			30	30
	臨地実習	4	81	基礎看護学実習Ⅰ	2	90			90
			82	基礎看護学実習Ⅱ	2		90		90
		3	83	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	30			30
			84	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2			90	90
		4	85	成人看護学実習Ⅰ	2		90		90
			86	成人看護学実習Ⅱ	2			90	90
		6	87	老年看護学実習Ⅰ	2		90		90
			88	老年看護学実習Ⅱ	2		90		90
			89	老年看護学実習Ⅲ	2			90	90
		2	90	小児看護学実習	2			90	90
		2	91	母性看護学実習	2			90	90
		2	92	精神看護学実習	2			90	90
		2	93	看護統合実習	2			90	90
		69		小計	69	600	945	705	2250
合計		105		合計	105	1215	1140	810	3165

カリキュラム構成図



カリキュラム構築にあたり、教育理念、目的、目標は看護基礎教育の根幹になるものと考え、教育内容全体を包んだ。期待する卒業生像を中心の柱として考え、常に各分野が漸進的、反復的、弾力的に学習を積み上げ教育をしていく。基礎分野は、看護教育の基盤となる分野であり一番下台に置き全体を支える。ここでは看護の対象である人間理解と、生活者として幅広く理解をさせ、看護実践の基盤となる科学的・論理的思考を深める学習にする。専門基礎分野は、人体ならびに疾病を系統立てて理解させ、健康を支援できるための土台になるものと考え、基礎分野の上台に置いた。専門分野である基礎看護学は看護の本質と理論を学び、看護実践の基礎となる知識・技術・態度を習得する学であり、各看護学の基盤である。また地域・在宅看護論は成人、老年、小児、母性そして精神の対象を越えて、地域、在宅で生活するすべての人々を対象とすることで基礎看護学と並行した学びが必要と考え同じ土台に置き、漸進的に進めていく位置付けとした。その上台には成人、老年、小児、母性看護学が位置するが、地域・在宅看護論と精神看護学は全ての発達段階にある人々を対象とするので各看護学全体の上に置いた。またこれまでに習得してきた知識・技術・態度を更に応用、専門性を高め発展させることを目指し、各看護学の上に看護の統合と実践を置いた。

カリキュラムデザイン



	１年次	２年次	３年次
基礎分野	６２％	１５％	２３％
専門基礎分野	７１％	２６％	３％
専門分野	２４％	４４％	３２％

カリキュラムデザインは授業進度が、基礎分野、専門基礎分野の進行とともに専門分野の比重が多くなる漸進型カリキュラムである。

教科外活動

	1年生	時間	2年生	時間	3年生	時間
4月	入学式	8	新入生歓迎会	2	実習ガイダンス	24
	入学ガイダンス	8	実習激励会(2.3年生対象)	4	新入生歓迎会	2
	新入生歓迎会	2	健診(計測・血液 X-P検査)	4	健診(計測検査)	2
	実習激励会(2.3年生対象)	4	学校健診(校医)	2	学校健診(校医)	2
	個人情報の取り扱い 講話	2			実習激励会(2.3年生対象	2
	1年生間交流研修	8				
	健診(計測・血液 X-P検査)	4				
	東警察署防犯対策 講話	2				
5月	看護の日	2	基礎看護学実習Ⅱ 実習ガイダンス	8		
	学校健診(校医)	2	基礎看護学実習Ⅱ 実習報告会	4		
	避難訓練	2				
6月						
7月	遠足	8	遠足	8		
8月	戴帽式		実習激励会(1年生対象)	2		
	実習激励会(1年生対象)	8				
	地域・在宅看護論 実習ガイダンス	8				
9月	地域・在宅看護論Ⅰ 実習報告会	4	成人・老年看護学実習 実習ガイダンス	12		
	札幌医科大学解剖 標本館見学	4				
10月	防火訓練	2				
11月			成人・老年看護学実習 実習報告会	4	血液セミナー	2
					北海道看護研究学会 参加	4
					実習ガイダンス	8
12月						
1月	基礎看護学実習Ⅰ ガイダンス	8				
2月					看護師国家試験	8
3月	予餞会	2	予餞会	2	予餞会	2
	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2	卒業特別講演	2
	2年生看護研究発表 聴講	2	実習施設説明会	16	卒業報告会	4
			健診(血液X-P検査)	2	卒業式	8
小計	92	時間	72	時間	70	時間
総計	234	時間				

教科外活動の目的

1．学年の枠を超え価値観の多様性に触れ、望ましい人間関係を形成するために必要な能力を育成する。

2．組織・集団の一員であるという自覚をもち、責任ある行動、調整力を育成する。

項　目	目　　的
入学式	看護を学ぶための出発点とし、看護者になる自覚をもつ
入学ガイダンス	看護基礎教育の目指すものを理解し、新しい環境に適応できるようにする 学校生活が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 学校の教育方針と学生の教育態度の確認 ② 学習への意欲をもり立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 授業に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を身に着けさせる ⑤ 学生同士、教員同士、学生と教員の人間関係の場
新入生歓迎会	新一年生の先輩として、教員とともに歓迎交流の会とする
実習激励会	学生個々が臨地実習の目標達成を願い、学生相互の激励の場とする
1年生間交流研修	新一年生間の交流をとおして、お互いを理解し仲間作りの機会とする
防犯対策講話	東警察署より防犯対策の知識を学び自己の生活管理に役立て健全な学校生活を送る
個人情報の取り扱い講話	弁護士による講話から本校の学生として法令を遵守した日常生活を送る
健康診断・血液検査・ 胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ撮影	学生の健康状態を把握し、学生個々が健康管理の重要性を自覚する
防火訓練	災害時の対処方法を学び、安全に対する知識と関心を深め事故防止に努める
遠足	学生・教員間の交流を深め、集団生活のあり方を学ぶ
看護の日	地域でのボランティア活動を通して地域住民、仲間とのつながりを実感する
戴帽式	看護に対する学びの姿勢を整え、看護の精神を受け継ぐ動機づけの場とする
北海道看護協会研究発表聴講	① 北海道看護職員の活動の実際に参加することで、自己における専門職としての意識向上をはかる ② 看護研究に役立てる
札幌医科大学標本館見学	歴史ある医療に関する標本を見学することで、解剖生理学他基礎知識を深める
血液セミナー	血液製剤の一般的知識と献血の意義を理解する
実習ガイダンス	実習が円滑に行えるよう心構えをもたせる ① 実習の目的と学生の教育態度の確認 ② 実習への意欲をもり立てさせ、自己目標を明らかにさせる ③ 実習に入る体制を整えさせる ④ 卒業までの学生の学習態度を自覚させる
実習報告会	実践した看護を振り返り自己課題を明確にし、看護観を確立していく
1年生看護研究発表聴講	先輩達の研究発表を聴講する事で、看護研究の意義を理解し看護の学びを深める
予餞会	卒業前に卒業生に対して旅立ちを祝う会
卒業報告会	３年間の学業を修め学校での学び仲間との思い出、将来の目標等を、教員参加で語る会
卒業特別講演	社会的視野を広げ教養を深めるとともに、広い視野から看護を考える機会とする
卒業式	看護基礎教育の全課程修了者に証書授与し認定する 卒業生は看護基礎教育の修了者であることの自覚を高める 在校生は卒業生を祝い、思いやりの心を養う

基礎看護学（12単位　345時間）

- 基礎看護学
  - 看護学概論Ⅰ（1単位30時間）
    - 看護の概念
    - 健康と看護
    - 看護の対象
    - 看護の機能と役割
  - 看護学概論Ⅱ（1単位15時間）
    - 看護理論
    - 看護倫理
  - 共通援助技術（1単位30時間）
    - 技術の概念
    - 観察・記録
    - 感染防止　（衛生学的手洗い、ガウンテクニック、滅菌手袋の装着）
    - 学習支援技術
    - コミュニケーション技術
    - 安全教育
  - 生活援助技術Ⅰ（1単位30時間）
    - 食事の援助(食事介助、口腔ケア）
    - 排泄の援助(尿器、便器介助）
  - 生活援助技術Ⅱ（1単位30時間）
    - 環境調整（ベッドメーキング）
    - 活動の援助(体位変換、移乗、移送）
    - 休息・睡眠・安楽の援助（罨法）
  - 生活援助技術Ⅲ（1単位30時間）
    - 衣生活の援助　（寝衣交換）
    - 清潔の援助（演習：全身清拭、洗髪、足浴）
  - フィジカルアセスメント技術（1単位30時間）
    - ヘルスアセスメント　臨床判断
    - フィジカルアセスメント技術（系統別フィジカルアセスメント）
事例で学ぶフィジカルアセスメント
    - 身体各部の計測・バイタルサイン測定・
フィジカルアセスメントの実際　学内実習
  - 診療援助技術（1単位30時間）
    - 検査の看護（尿、便、痰、採血法、心電図、エックス線検査）
    - 呼吸・循環管理　（酸素吸入、吸引、排痰法、AED）
    - 与薬　（皮下・筋肉注射、静脈内注射、輸液ポンプの基本操作）
  - 看護展開技術（1単位30時間）
    - 回復期の看護過程
  - 生活援助技術実践（1単位30時間）
    - 看護技術演習
  - 臨床看護総論（1単位　30時間）
    - 健康障害のある対象・家族の理解
    - 健康レベル別看護
      - 急性期における看護
      - 回復期における看護
      - 慢性期における看護
      - 終末期における看護
    - 主要症状と看護
      - 呼吸に関連する症状への看護
      - 循環に関連する症状への看護
      - 栄養・排泄に関連する症状への看護
      - 認知・知覚に関連する症状への看護
      - 安楽に関連する症状への看護
    - 治療別看護
      - 安静療法と看護
      - 食事療法と看護
      - 薬物療法と看護
      - 放射線療法と看護
      - リハビリテーションと看護
  - 看護研究（1単位　30時間）

地域・在宅看護論（6単位　135時間）

- 地域・在宅看護論
  - 地域・在宅看護論演習（1年次　1単位15時間）
    - フィールドワーク
      - 地域特性を把握するための情報収集
      - 地域調査
    - 地域環境と健康
      - 地域の生活環境が健康に与える影響
  - 地域・在宅看護論総論Ⅰ（1年次　1単位15時間）
    - 地域で暮らす人々と看護
      - 地域で展開する看護が必要とされる背景
      - 地域・在宅看護論の対象
    - 地域における看護提供の場
      - 地域包括ケアシステムと看護の役割
      - 地域における看護提供の場
  - 地域・在宅看護論総論Ⅱ（2年次　1単位15時間）
    - 地域で暮らす人々を支える
      - 地域・在宅看護論に関連する法律・制度、施策
      - ケアマネジメント
    - 地域で暮らす人々の権利保障と看護者の責務
      - 地域で暮らす人々の権利保障
      - 看護実践上の倫理的課題へのアプローチ
  - 地域・在宅看護論総論Ⅲ（2年次　1単位30時間）
    - 看護の継続性
      - 継続看護の意義と方法
      - 継続看護の実際
    - ケアを必要とする個人及び家族を支えるための専門職および多職種連携
      - 退院支援・退院調整
      - 在宅ケアチーム
      - 地域包括ケアにおける多職種連携
  - 地域・在宅看護論方法論Ⅰ（2年次　1単位30時間）
    - 地域で生活する人々に対する看護
      - 健康の保持増進、疾病予防に関わる看護
      - 地域で療養生活をおくる人々と家族のアセスメントと看護
    - 在宅看護の実際
      - 看護者に求められる態度
      - 介入時期別の看護
    - 暮らしの場で行なわれる看護の展開方法（事例展開）
      - 在宅療養移行期にある対象への援助計画立案
  - 地域・在宅看護論方法論Ⅱ（2年次　1単位30時間）
    - 安全な環境と健康危機管理
      - 在宅療養における安全な環境とリスクマネジメント
    - 生活を支える援助技術
      - 日常生活を支えるために必要なアセスメントと援助技術
    - 暮らしの場で行われる治療と看護
      - 在宅医療技術

成人看護学（6単位　165時間）

- 成人看護学
  - 成人看護学総論Ⅰ（1単位　15時間）
    - 成人看護の機能と役割
      - 看護学全体から見た成人看護学の位置づけ
      - 成人の定義
      - 成人看護の基本的姿勢
    - 成人看護の対象
      - ライフサイクルからみた成人期
      - 発達段階・発達課題
    - 成人看護に有用な理論
      - 病みの軌跡
      - アンドラゴジー
      - フィンク
  - 成人看護学総論Ⅱ（1単位30時間）
    - 社会環境と成人の生活
      - 働くことと生活
      - 家族との関係
      - 多様なライフスタイル
    - 成人保健の動向
      - 保健統計からみた成人の健康の動向
      - 成人を対象とした保健・医療・福祉対策
    - 成人期に特徴的な健康課題と対策
      - 成人各期に特徴的な健康課題
      - 生活習慣に関連する健康障害
      - 職業に関連する健康障害
      - 生活ストレスに関連する健康障害
      - セクシュアリティに関連する健康障害
      - 更年期に関連する健康障害
  - 成人看護学方法論Ⅰ（1単位　30時間）
    - 急性期にある対象の看護
      - 急性期看護の概要
      - 呼吸機能障害をもつ患者の看護
      - 循環機能障害をもつ患者の看護
      - 消化機能障害をもつ患者の看護
  - 成人看護学方法論Ⅱ（1単位　30時間）
    - 周手術期にある対象の看護
      - 周手術期看護の概要
      - 周手術各期（術前・術中・術後）の看護
      - 学内実習　（無菌操作・創傷処置）
    - 看護過程
      - 胃がんで手術を受ける患者の看護
    - 術後の回復を促す看護技術
      - 学内実習（酸素吸入法・吸引法・包帯法）
  - 成人看護学方法論Ⅲ（1単位　30時間）
    - 回復期にある対象の看護
      - リハビリテーション看護の概要
      - 運動機能障害をもつ患者の看護
      - 脳・神経機能障害をもつ患者の看護
    - 慢性期にある対象の看護
      - 慢性期看護の概要
      - 内分泌・代謝機能障害をもつ患者の看護
      - 腎・泌尿機能障害をもつ患者の看護
      - 免疫機能障害をもつ患者の看護
  - 成人看護学方法論Ⅳ（1単位　30時間）
    - がんをもつ対象の看護
      - がん医療の現在と臨床経過
      - がん看護と緩和ケア
      - 血液造血器機能障害をもつ患者の看護
    - 終末期にある対象の看護
      - 人間にとっての死
      - 危篤時に特徴的な症状と看護
      - 臨終時のケア
    - 救急医療における対象の看護
      - 救急看護の概念と法的・倫理的側面
      - 救急看護の概要
      - 救急患者の観察とアセスメント
      - 主要病態に対する救急処置と看護
      - 学内演習（心肺蘇生法）

老年看護学（4単位　105時間）

- 老年看護学
  - 老年看護学総論Ⅰ（1単位15時間）
    - 老年看護の機能と役割
      - 老年看護の理念
      - 老年看護の目的・目標
      - 老年看護の特徴
    - 老年看護の対象
      - 加齢と老化
      - 老年期の発達段階・発達課題
      - 高齢者模擬体験（演習）
  - 老年看護学総論Ⅱ（1単位30時間）
    - 高齢社会と社会保障
      - 高齢社会の統計的輪郭
      - 高齢社会における保健医療福祉の動向
        - ・保健医療福祉制度の変遷
        - ・介護保険制度
        - ・高齢者医療のしくみ
      - 高齢者の権利擁護
    - 高齢者の生活・療養の場
      - 高齢者の療養の場と看護
        - ・在宅高齢者への看護
        - ・保健医療福祉施設における看護
      - 高齢者の家族と看護
      - 高齢者のリスクマネジメント
    - 老年看護に有用な看護理論
      - エイジング
      - エンパワメント
      - 生涯発達理論
      - バトラー
      - ストレングス
  - 老年看護学方法論Ⅰ（1単位30時間）
    - 高齢者の健康障害と看護
      - 高齢者に多い健康障害の成り立ち・臨床的特徴
      - 高齢者に起こりやすい疾患の病態生理と検査・治療
      - 身体可動性に障害のある高齢者の看護
      - 認知機能障害のある高齢者の看護
      - コミュニケーション障害のある高齢者の看護
    - 終末期における看護
      - 高齢者の喪失体験と死
      - エンドオブライフ・ケア
      - 家族へのグリーフケア
  - 老年看護学方法論Ⅱ（1単位30時間）
    - 高齢者の生活を支える援助技術
      - 老年看護技術実践に必要な要素
      - 日常生活を支える基本動作のアセスメントと看護技術
        - ・コミュニケーションに関する援助
        - ・移乗、移動に関する援助(演習)
        - ・生活リズムに関する援助
        - ・清潔に関する援助
        - ・食事に関する援助(演習)
        - ・排泄に関する援助（演習）
    - 看護過程
      - 終末期にある高齢者の事例展開

小児看護学　（4単位　105時間）

- 小児看護学
  - 小児看護学総論Ⅰ（1単位　15時間）
    - 小児看護の特徴と理念
    - 小児看護の目指すところ
      - 小児看護の対象
      - 小児看護の目標と役割
    - 小児と家族の諸統計
      - わが国の人口構造、出生と家族
      - 子どもの死亡
    - 小児看護の変遷
      - 小児医療、小児看護の変遷
    - 小児看護における倫理
      - 子どもの権利
      - 医療現場におこりやすい問題点と看護
    - 小児看護の課題
      - 疾病構造の変化と小児看護
      - 社会の変化と小児看護、小児看護の専門分化
  - 小児看護学総論Ⅱ（1単位　30時間）
    - 小児各期の成長発達と評価
      - 成長･発達、一般的原則
      - 成長･発達に影響する因子
      - 成長･発達の評価
      - 形態的特徴、感覚運動機能、情緒社会的機能
    - 小児の栄養
      - 発達段階の小児の栄養の特徴
    - 小児各期の特性と生活安全教育と事故防止
      - 乳児の養育および看護
      - 幼児期の基本的生活習慣の獲得、養育および看護
      - 学童期の子どもを取り巻く諸環境、養育および看護
      - 思春期･青年期の生活の特徴、思春期の看護
    - 家族の特徴とｱｾｽﾒﾝﾄ
      - 子どもにとっての家族、家族ｱｾｽﾒﾝﾄ
    - 小児と家族を取り巻く社会
      - 小児をめぐる法律と政策、児童福祉、母子保健、医療費支援
      - 小児保健の意義、予防接種、学校保健
      - 特別支援教育、臓器移植法
  - 小児看護学方法論Ⅰ（1単位　30時間）
    - 小児期に多い健康障害の病態生理・経過・治療
      - 染色体異常･先天異常、新生児疾患
      - 代謝疾患、内分泌疾患
      - 免疫･アレルギー疾患･ﾘｳﾏﾁ性疾患
      - 感染症、呼吸器疾患
      - 循環器疾患、血液･造血器疾患
      - 悪性新生物、腎泌尿器生殖器疾患
      - 神経疾患、事故･外傷
      - 小児の救急法
  - 小児看護学方法論Ⅱ（1単位　30時間）
    - 病気･障害を持つ小児と家族の看護
      - 家族に与える影響、健康問題と看護
    - 状況(環境)に特徴づけられる看護
      - 入院中の小児と家族の看護
      - 外来における小児と家族の看護
      - 在宅療養中の小児と家族の看護
      - 災害時の小児と家族の看護
    - 小児の疾病の経過と看護
      - 慢性期にある小児と家族の看護
      - 急性期にある小児と家族の看護
      - 周手術期の小児と家族の看護
      - 終末期の小児と家族の看護
    - 小児のアセスメント
      - ｱｾｽﾒﾝﾄに必要な技術
        - 身体的アセスメント
    - 症状を示す小児の看護
    - 障害のある小児と家族の看護
    - 検査処置を受ける小児の看護･技術演習
    - 看護過程

母性看護学　（4単位　105時間）

- 母性看護学
  - 母性看護学総論Ⅰ（1単位　15時間）
    - 母性看護の基礎となる概念
      - 母性とは
      - 母子関係と家族発達
      - セクシュアリティ
      - リプロダクティブヘルス/ライツ
      - ヘルスプロモーション
      - 母性看護のあり方
      - 母性看護における倫理
      - 母性看護における安全･事故防止
    - 母性看護の対象理解
      - 女性のライフサイクルにおける形態･機能の変化
      - 女性のライフサイクルと家族
  - 母性看護学総論Ⅱ（1単位　30時間）
    - 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状
      - 母性看護の歴史的変遷と現状
      - 母性の発達･成熟･継承
      - 母性看護の対象を取り巻く環境
    - 女性のライフステージ各期における看護
      - ライフサイクルにおける女性の健康と看護の必要性
      - 思春期の健康と看護
      - 成熟期の健康と看護
      - 更年期の健康と看護
      - 老年期の健康と看護
      - リプロダクティブケアについて学ぶ
  - 母性看護学方法論Ⅰ（1単位　30時間）
    - 妊娠期の看護
      - 妊娠期の特徴
      - 妊娠期の看護
      - ハイリスク妊娠と看護
      - 異常妊娠の看護
    - 分娩期の看護
      - 分娩期の特徴
      - 分娩期の看護
      - 分娩に伴う異常の看護
    - 産褥期の看護
      - 産褥期の特徴
      - 産褥期の看護
      - 異常産褥の看護
      - 奇形児や子を亡くした母親への援助
    - 新生児の看護
      - 新生児の生理的特徴
      - 出生直後の新生児の看護
      - 新生児の看護
    - 母性の特殊看護技術
  - 母性看護学方法論Ⅱ（1単位　30時間）
    - ライフサイクルに関連した生殖器疾患とその看護
      - 思春期の疾患と看護
      - 成熟期の疾患と看護
      - 更年期の疾患と看護
    - 異常妊娠･分娩･産褥
    - 看護過程
      - 正常初産褥婦の看護過程の展開

精神看護学 （4単位　105時間）

- 精神看護学
  - 精神看護学総論Ⅰ（1単位　15時間）
    - 精神看護学の目的・目標
      - 精神看護学の位置づけ
      - 精神看護の目的と目標
      - 精神看護学と精神看護
    - 精神看護の対象
      - 精神看護の対象となる（個人・集団）
      - あらゆる発達段階の人
      - あらゆる健康段階の人
      - ノーマライゼーションと精神障害の人権・倫理
    - 精神看護の機能・役割
      - 精神の病気で悩んでいる人とその家族に対する看護
      - 精神的危機状況への看護
      - 精神保健と相談、社会資源とネットワークづくり
      - 家族への支援
      - コンサルテーションリエゾン精神看護
  - 精神看護学総論Ⅱ（1単位　30時間）
    - 精神保健の概念
      - 精神保健の定義
      - 精神保健の領域
      - 現代社会と精神保健
    - 成長発達と危機
      - ライフサイクルと精神保健
      - 危機状況と心の働き
    - 現代社会における精神保健
      - 生活の場と精神保健
      - 医療現場における危機の諸相
      - 特殊な状況（災害時など）における危機の諸相
    - 精神保健活動の実際と今後の課題
      - 精神保健の歴史
      - 精神保健福祉法と医療行政
      - 地域精神保健福祉法活動
      - リエゾン精神医学とリエゾン看護
  - 精神看護学方法論Ⅰ（1単位　30時間）
    - 精神障害者の理解
      - 精神症状の種類
      - 状態像（症状群）
      - 中枢神経症状
      - 精神障害の分類
    - 精神障害を持つ人に行われる主な検査・治療
      - 検査
      - 治療
    - 精神医学とほかの領域との連携情報交換の必要性
      - リハビリ精神医学
  - 精神看護学方法論Ⅱ（1単位　30時間）
    - 精神障害患者の看護
      - 精神看護における安全と事故防止
      - 精神を病む人の看護援助の基本
      - 主な精神症状と問題行動への看護
      - 主な精神疾患の看護
      - 主な精神疾患の治療
      - 精神障害を持つ患者の家族の支援
      - 地域における看護
    - 精神に障害のある対象の看護過程
      - 統合失調症 慢性期の看護過程

看護の統合と実践　　（4単位　75時間）

- 看護の統合と実践
  - 看護管理（1単位15時間）
    - 看護とマネジメント
      - 看護管理とは
      - マネジメントとは
      - 看護におけるマネジメントとは
    - 看護ケアのマネジメント
      - 看護ケアのマネジメントと看護職の機能
      - 患者の権利の尊重
      - 安全管理
      - チーム医療
      - 看護業務の実践
    - 看護サービスのマネジメント
      - 組織としての看護サービス
      - 組織目的達成のマネジメント
      - 看護サービス提供の仕組みづくり
      - 人材のマネジメント
      - 施設・設備環境のマネジメント
      - 物品のマネジメント
      - 情報のマネジメント
      - 組織におけるリスクマネジメント
      - サービスの評価
    - マネジメントに必要な知識と技術
      - 組織とマネジメント
      - リーダーシップとマネジメント
      - 組織の調整
      - 組織と個人
  - 災害看護（1単位15時間）
    - 災害の種類・災害サイクルと看護
      - 災害の種類および被害・疾患の特徴
      - 災害サイクル・災害時要援護者への対応
    - 災害時の情報収集と災害医療に関する法律と政策
      - 災害時の情報収集と伝達
      - 災害医療に関する法律問題
      - 災害医療に関する国の政策
    - 災害時における他職種との連携支援システム
      - 災害時を想定した平常時からのネットワーク構築
      - 災害時におけるネットワークの活用
    - 被災地における災害時の看護活動 DMAT
      - 初動時における看護活動
      - 医療救護所における看護活動
      - 避難所・仮説住宅における看護活動
      - 在宅・復興住宅における看護活動
      - 災害復旧と災害復興
    - 被災者の心理・支援者の心理の理解と援助、災害時の健康危機管理
      - 被災者の心理的特徴と援助
      - 支援者の心理的特徴と援助
      - 感染症に対する健康危機管理
    - 病院災害と減災・防災ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
      - 災害に備えたﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
    - 災害看護と国際看護
      - 国際看護とは、海外における災害看護の課題
    - 災害看護における倫理と教育
      - 災害と倫理、災害看護教育
  - 災害看護演習（1単位15時間）
    - 災害時に必要な医療・看護技術
      - 体系的対応の基本原則（CSCA）
      - 災害時のトリアージ（技術評価）
      - 応急処置・搬送技術
    - 災害における救急法の実際
      - 災害時における救急法の実際（技術評価）
      - グループ発表会
  - 看護技術統合実践（1単位30時間）
    - 技術演習
      - 演習オリエンテーション
      - 事前計画書立案・技術演習
      - 援助計画書に基づき技術演習（技術評価）

科目進度計画表（1学年）

	教科科目			担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学年		基礎分野	看護物理学	森山	→	→	→									
			国語表現法	福田							→	→	→			
			英語Ⅰ	佐藤有	→	→	→	→	→	→						
			心理学	久原		→	→	→	→	→	→	→				
			コミュニケーション	石塚	→	→	→	→	→							
			文化人類学	菊地							→	→	→	→	→	
			倫理学	佐藤郁恵		→	→	→	→	→	→					
			音楽と表現技法	伏見		→	→	→	→	→	→	→				
			家族論	堺		→	→	→	→							
		専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ	佐藤惇	→	→										
			解剖生理学Ⅱ	後山 賀来　加藤	運動器→呼吸器系→循環器											
			解剖生理学Ⅲ	一木　河田 鈴木　安彦	消化器→ 血液・免疫系 → 腎泌尿 → 代謝分泌アレルギー											
			解剖生理学Ⅳ	杉本　佐野　賀来 永森　安彦　島村					脳神経→生殖器→皮膚 →耳鼻科、眼科、歯科							
			解剖生理学演習	永森　吉田真							→	→	→	→	→	
			病理学総論	佐藤惇			→	→	→	→						
			生化学	佐藤惇			→	→	→	→	→	→				
			栄養学	上坂			→	→	→	→						
			人の生活と食事	上坂							→	→	→	→		
			臨床薬理学	山崎			→	→	→	→	→					
			微生物学	澤田		→	→	→	→	→	→					
			病態と治療Ⅰ	後山 賀来　加藤			運動器・循環器 呼吸器									
			病態と治療Ⅱ	一木　河田 鈴木　安彦			消化器→血液・免疫系→腎泌尿→代謝分泌アレルギー									
			チーム医療論	土畠									→	→	→	
			リハビリテーション	冨樫						→	→	→	→			
			公衆衛生学	都築								→	→	→	→	

	教科科目			担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学年	専門分野	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	藤原	→	→	→	→								
			看護学概論Ⅱ	三上				→	→	→	→					
			共通援助技術	藤原 鎌田	技術の概念・感染予防 安全教育・KYT →	→	→									
			生活援助技術Ⅰ	中村 坂本						食事 → 排泄 →	→					
			生活援助技術Ⅱ	浦島 坂本			→	活動・環境・休息・睡眠 →	→	→						
			生活援助技術Ⅲ	吉田 中村								衣生活　清潔の援助 →	→	→		
			フィジカルアセスメント技術	藤原 成田								フィジカルアセスメント バイタルサイン →	→	→	→	→
			診療援助技術	三上 成田											診療・検査・処置・与薬 注射 →	→
			看護展開技術	齊藤						看護過程・事例展開(回復期の看護過程) →	→	→	→	→		
			生活援助技術実践	藤原												→
			臨床看護総論	三上 中村 坂本						健康障害にある対象・家族理解　健康レベル別看護・主要症状と看護・治療別看護 →	→	→	→			
		地域・在宅看護論	地域・在宅看護論演習	櫻井			→	→		→						
			地域・在宅看護論総論Ⅰ	櫻井						→	→	→				
		成人看護学	成人看護学総論Ⅰ	三上							成人看護の機能と役割 →	→				
			成人看護学総論Ⅱ	三上 浦島											社会環境と成人の生活、成人保健の動向、	
		老年看護学	老年看護学総論Ⅰ	齊藤						老年看護の機能と役割 老年看護の対象 →	→					
			老年看護学総論Ⅱ	齊藤 新野						高齢社会と社会保障・高齢者の生活療養の場、老年看護に有用な看護理論 →	→	→				
		小児看護学	小児看護学総論Ⅰ	坂本									小児看護の変遷・目的と役割 →	→		
		母性看護学	母性看護学総論Ⅰ	吉田										母性看護の基盤となる概念 母性看護の対象理解 →	→	
		精神看護学	精神看護学総論Ⅰ	鎌田											精神看護の意義、対象・役割・機能の理解 →	→
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	藤原										↔	↔	
			地域・在宅看護論実習Ⅰ	櫻井					↔	↔						

科目進度計画表(2学年)

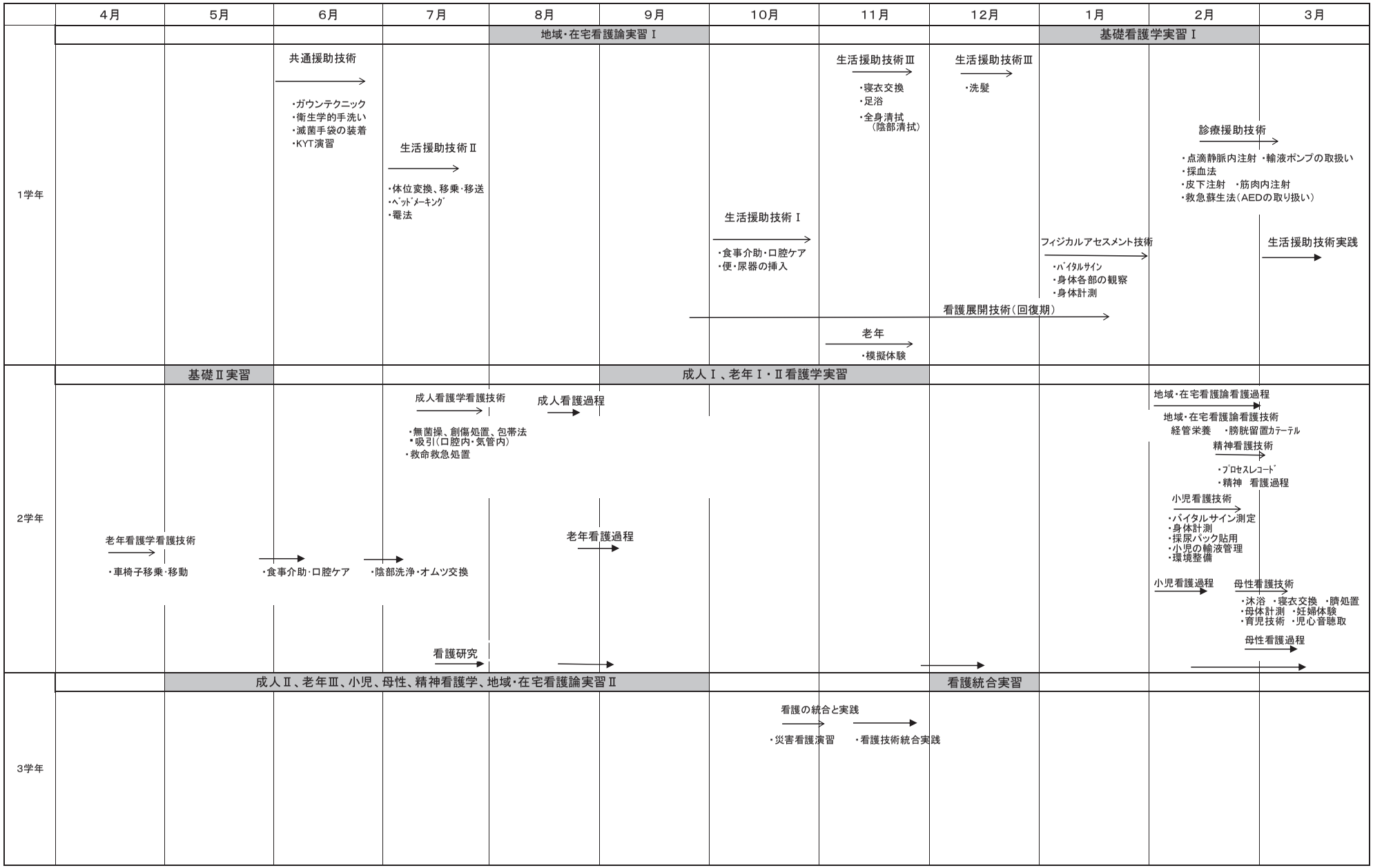
	教科科目			担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2学年		基礎分野	論理学	石飛												
			情報科学と統計	浅尾												
		専門基礎分野	臨床検査	西川												
			病態と治療Ⅲ	佐野 賀来 永森 安彦 島村	脳→生→皮→耳、眼、歯											
			治療法概論	蔵前 住田												
			社会福祉	星												
			関係法規	水野												
	専門分野	基礎看護	看護研究	吉田												
		地域・在宅看護論	地域・在宅看護論総論Ⅱ	照井		地域で暮らす人人々を支える 権利保障と看護師の責務										
			地域・在宅看護論総論Ⅲ	石谷 櫻井			看護の継続性 ケアを必要とする個人及び家族を ささえるための専門職及び他職種連携									
			地域・在宅看護論方法論Ⅰ	高橋 櫻井								地域で生活する人々に対する看護 在宅看護の実際 暮らしの場 で行われる看護の展開方法				
			地域・在宅看護論方法論Ⅱ	松木 櫻井 浦島										安全な環境と健康危機管理 生活を支える援助 技術 暮らしの場で行われる治療と看護		
		成人看護学	成人看護学方法論Ⅰ	磯田 小山内 赤石	消化器・循環器 呼吸器											
			成人看護学方法論Ⅱ	成田 三上			周手術期・ 術後の回復を促進する技術 看護過程									
			成人看護学方法論Ⅲ	鎌田 櫛引 伊藤 福島 成田	回復期にある対象の看護 慢性期にある対象の看護											
			成人看護学方法論Ⅳ	渡辺 渡邉 成田			がんをもつ対象の看護、終末期にある看護 救急医療にある対象の看護 救急蘇生演習									
		老年看護学	老年看護学方法論Ⅰ	富田 鈴木 原谷	高齢者の特徴的疾患 認知症の看護 可動 性障害・コミュニケーション障害のある高齢者 終 末期の看護											
			老年看護学方法論Ⅱ	齊藤	高齢者の生活を支える援助技術 看護過程											
		小児看護学	小児看護学総論Ⅱ	山谷 大久保 坂本			子どもと家族を取り巻く社会 子どもの成長発達・子どもの栄養 小児各期の特徴と生活家族アセスメント									
			小児看護学方法論Ⅰ	大久保					小児期に多い健康障害の病態生理・経過・治療							
			小児看護学方法論Ⅱ	畠山 宮部 坂本								障害を持つ小児と家族 疾病の経過と看護・小児の看護技術・看護過程				
		母性看護学	母性看護学総論Ⅱ	吉田か									母性の対象を取り巻く社会の変遷・ 母性看護の課題			
			母性看護学方法論Ⅰ	吉藤 吉田か										妊娠期・分娩期・産褥期 特殊技術		
			母性看護学方法論Ⅱ	佐野 吉田か										生殖器疾患と看護 看護過程		
		精神看護学	精神看護学総論Ⅱ	三浦												
			精神看護学方法論Ⅰ	村本												
			精神看護学方法論Ⅱ	鎌田 佐々木眞											精神障害者の看護 看護過程	

	教科科目			担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生	臨地実習	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅱ	藤原		←→										
		成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	三上						←→	←→	←→				
		老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	齊藤						←→	←→	←→				
			老年看護学実習Ⅱ	齊藤							←→	←→				

科目進度計画表（3学年）

	教科科目			担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3学年		基礎分野	英語Ⅱ	佐藤有												
			社会学	鄭												
			教育学	杉浦												
		専門基礎	総合医療論	島村												
	専門分野	看護の統合と実践	看護管理	草薙						看護サービスのマネジメント 看護を取り巻く諸制度　マネジメントに必要と技術						
			災害看護	村上　石塚　山城 苫小牧王子病院 DMAT												
			災害看護演習	中川							災害演習					
			看護技術統合実践	藤原								技術演習				
	臨地実習		成人看護学実習Ⅱ	三上												
			老年看護学実習Ⅲ	齊藤												
			小児看護学実習	坂本												
			母性看護学実習	吉田か												
			精神看護学実習	鎌田												
			地域・在宅看護論実習Ⅱ	櫻井												
			看護統合実習	藤原												

学内実習・演習進度表


4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
1学年
地域・在宅看護論実習Ⅰ
基礎看護学実習Ⅰ
共通援助技術
・ガウンテクニック
・衛生学的手洗い
・滅菌手袋の装着
・KYT演習
生活援助技術Ⅱ
・体位変換、移乗・移送
・ﾍﾞｯﾄﾞﾒｰｷﾝｸﾞ
・罨法
生活援助技術Ⅰ
・食事介助・口腔ケア
・便・尿器の挿入
生活援助技術Ⅲ
・寝衣交換
・足浴
・全身清拭
（陰部清拭）
生活援助技術Ⅲ
・洗髪
診療援助技術
・点滴静脈内注射 ・輸液ポンプの取扱い
・採血法
・皮下注射 ・筋肉内注射
・救急蘇生法（AEDの取り扱い）
フィジカルアセスメント技術
・ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ
・身体各部の観察
・身体計測
生活援助技術実践
看護展開技術（回復期）
老年
・模擬体験
2学年
基礎Ⅱ実習
成人Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ看護学実習
成人看護学看護技術
・無菌操、創傷処置、包帯法
・吸引（口腔内・気管内）
・救命救急処置
成人看護過程
老年看護学看護技術
・車椅子移乗・移動
・食事介助・口腔ケア
・陰部洗浄・オムツ交換
老年看護過程
看護研究
地域・在宅看護論看護過程
地域・在宅看護論看護技術
経管栄養 ・膀胱留置ｶﾃｰﾃﾙ
精神看護技術
・ﾌﾟﾛｾｽﾚｺｰﾄﾞ
・精神 看護過程
小児看護技術
・バイタルサイン測定
・身体計測
・採尿パック貼用
・小児の輸液管理
・環境整備
小児看護過程
母性看護技術
・沐浴 ・寝衣交換 ・臍処置
・母体計測 ・妊婦体験
・育児技術 ・児心音聴取
母性看護過程
3学年
成人Ⅱ、老年Ⅲ、小児、母性、精神看護学、地域・在宅看護論実習Ⅱ
看護統合実習
看護の統合と実践
・災害看護演習
・看護技術統合実践

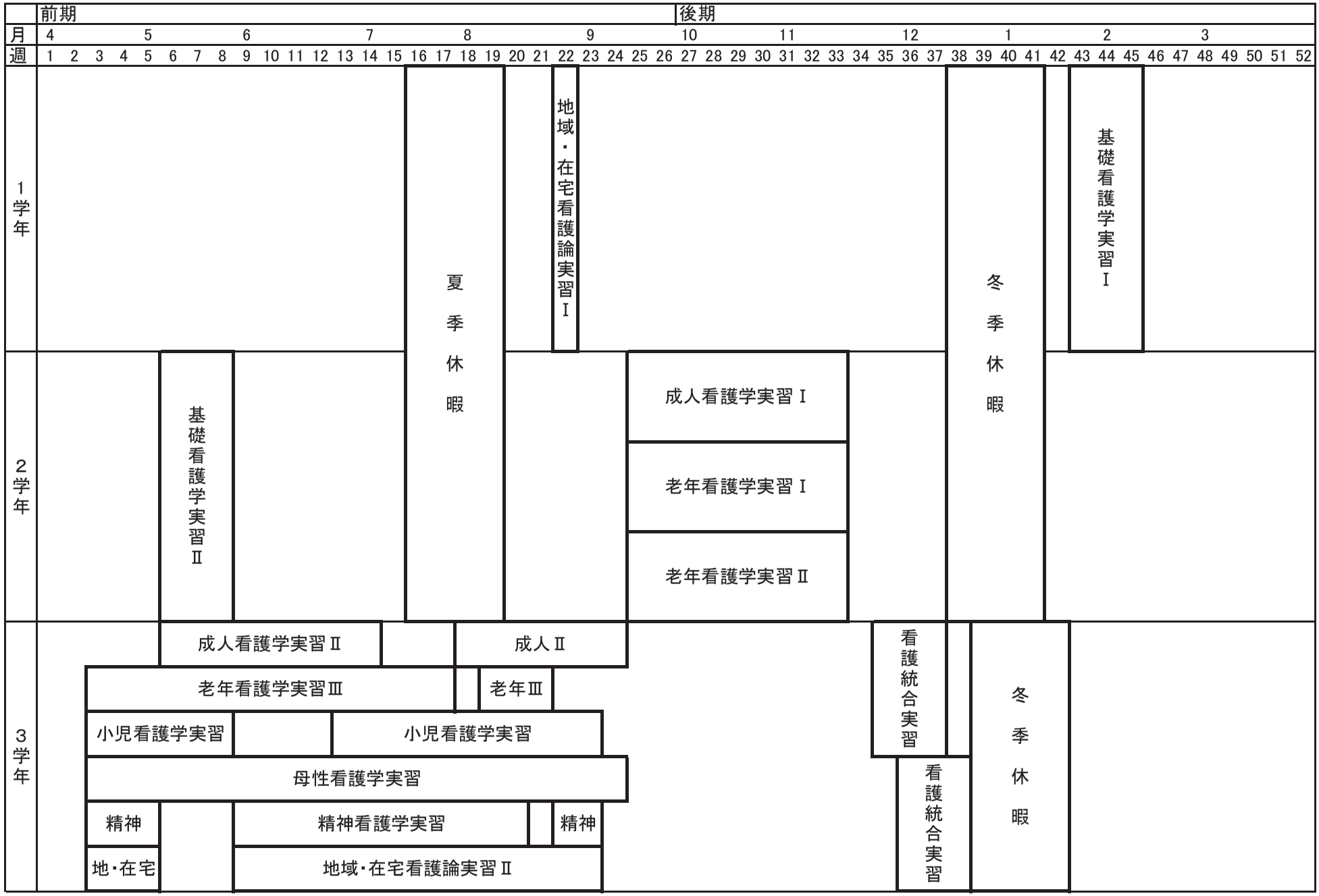
看護師教育の技術項目と卒業時の到達度(学内実習・演習)

＜演習＞　Ⅰ：モデル人形もしくは学生間で単独で実施できる

Ⅱ：モデル人形もしくは学生間で指導の下で実施できる

学年	期	科　目	技　術　項　目	ﾚﾍﾞﾙ	学内実習・演習
1年	前期	共通援助技術	57 ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾌﾟﾘｺｰｼｮﾝ(標準予防策) に基づく手洗い	Ⅰ	衛生学的手洗い
			58 必要な防護用具の選択・着脱	Ⅰ	滅菌手袋の装着　ガウンテクニック
					KYT演習
1年	後期	生活援助技術Ⅰ	3 食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	Ⅰ	食事介助
			26 口腔ケア	Ⅰ	口腔ケア(歯磨き・含嗽)
			7 排泄援助(床上、ポータブルトイレ、おむつ等)	Ⅰ	床上排泄(便器介助)
			10 浣腸　11 摘便　12 ストーマ管理		(知識)
1年	後期	生活援助技術Ⅱ	1 快適な療養環境の整備	Ⅰ	(体験)
					ベッドメーキング
			13 車椅子での移送　14 歩行移動介助	Ⅰ	体位変換、移動移乗
			15 移乗介助　16 体位変換 保持　18 ストレッチャー移送		(車椅子・ストレッチャー)
			17 自動・他動運動の援助		(体験)
			29 体温調節の援助		冷罨法・温罨法
1年	後期	生活援助技術Ⅲ	21 点滴ドレーンなどを留置していない患者の寝衣交換	Ⅰ	寝衣交換
			19 足浴　手浴	Ⅰ	足浴
			25 洗髪　20 整容	Ⅰ	洗髪　整容
			24 清拭	1	全身清拭
1年	後期	フィジカルアセスメント	52 フィジカルアセスメント	Ⅰ	身体診査(触診・聴診・打診) と観察
			50 バイタルサインの測定	Ⅰ	バイタルサインの測定
			51 身体計測	Ⅰ	身体計測
1年	後期	診療援助技術			ＡＥＤ
			56 検査の介助	Ⅰ	(知識)
			54 簡易血糖測定	Ⅱ	(知識)
			55 静脈血採血　53 検体取り扱い	Ⅱ	静脈血採血
			38 経口薬　39 経皮外用薬の投与　40 座薬の投与	ⅠⅡ	(体験)
			41 皮下注射　42 筋肉内注射	Ⅱ	皮下注射　筋肉内注射
			43 静脈路確保・点滴静脈内注射	Ⅱ	点滴静脈内注射(翼状針)
			44 点滴静脈内注射の管理	Ⅱ	輸液ポンプ
			62 針刺し事故防止・事故後の対応	Ⅰ	(知識)
			45 薬剤などの管理(毒薬…血液製剤、抗悪性腫瘍薬含む)	Ⅱ	(知識)
			46 輸血の管理	Ⅱ	(知識)
			67 人体へのリスクの大きい薬剤の暴露予防策の実施	Ⅱ	(知識)
			56 検査の介助	Ⅰ	(知識)
1年	後期	生活援助技術実践	2 臥床患者のリネン交換		バイタル　リネン交換　清拭　排泄介助
1年	後期	老年看護学総論Ⅰ			高齢者模擬体験
2年	前期	成人看護学方法論Ⅱ	36 創傷処置(創洗浄、創保護、包帯法)	Ⅱ	無菌操作・創傷処置
			37 ドレーン類の挿入部の処置	Ⅱ	(知識)
			30 酸素吸入療法の実施	Ⅰ	酸素吸入法
			32 口腔内　鼻腔内吸引	Ⅱ	吸引法
			33 気管内吸引	Ⅱ	(知識)
			34 体位ドレナージ	Ⅰ	(知識)
			31 ネブライザーを用いた気道内加湿	Ⅰ	(知識)
2年	前期	成人看護学方法論Ⅳ	48 一時救命処置	Ⅰ	心肺蘇生法(一次救命処置)
			47 緊急時の応援要請	Ⅰ	
2年	前期	老年看護学方法論Ⅰ	35 褥瘡予防ケア	Ⅱ	(知識)
			65 安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防)	Ⅰ	(知識)
2年	前期	老年看護学方法論Ⅱ	23 陰部の保清		陰部洗浄　おむつ交換
2年	前期	母性看護学方法論Ⅰ	28 新生児の沐浴・清拭	Ⅰ	新生児の沐浴
2年	後期	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	6 経鼻胃チューブの挿入	Ⅰ	経鼻胃ﾁｭｰﾌﾞ挿入
			5 経管栄養法による流動食の注入	Ⅰ	(知識)
			9 導尿又は膀胱留置ｶﾃｰﾃﾙの挿入	Ⅱ	膀胱留置ｶﾃｰﾃﾙの挿入
			8 膀胱留置ｶﾃｰﾃﾙの管理	Ⅰ	(知識)
3年	後期	災害看護	49 止血法の実施	Ⅰ	止血法
3年	後期	看護技術統合実践	27 点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換	Ⅰ	点滴留置患者の寝衣交換
			68 医療機器の操作・管理	Ⅱ	輸液ポンプ　酸素ボンベ
共通			59 使用した器具の感染防止の取り扱い	Ⅰ	
			60 感染性廃棄物の取り扱い	Ⅰ	
			63 インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告	Ⅰ	
			64 患者誤認防止の実施	Ⅰ	
			69 安楽な体位の調整	Ⅰ	
			70 安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア	Ⅰ	
			71 精神的安寧を保つためのケア	Ⅰ	
その他			22 入浴・シャワー浴の介助	Ⅰ	(知識)
			66 放射線被ばく防止の実施	Ⅰ	(知識)

年間臨地実習計画表


前期
後期
月
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3
週
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52
1学年
夏季休暇
地域・在宅看護論実習Ⅰ
冬季休暇
基礎看護学実習Ⅰ
2学年
基礎看護学実習Ⅱ
成人看護学実習Ⅰ
老年看護学実習Ⅰ
老年看護学実習Ⅱ
冬季休暇
3学年
成人看護学実習Ⅱ
成人Ⅱ
老年看護学実習Ⅲ
老年Ⅲ
小児看護学実習
小児看護学実習
母性看護学実習
精神
精神看護学実習
精神
地・在宅
地域・在宅看護論実習Ⅱ
看護統合実習
看護統合実習
冬季休暇

分野別実習単位・時間・実習施設一覧表

実習科目			単位	時間数	実習時期	実習施設
専門基礎	基礎看護学実習	基礎看護学実習Ⅰ	2	90	1年次後期	社会医療法人社団三草会　クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会　札幌南一条病院 医療法人社団　土田病院 社会医療法人　恵佑会札幌病院 医療法人美脳　札幌美しが丘脳神経外科病院
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90	2年次前期	社会医療法人社団三草会　クラーク病院 社会医療法人社団カレスサッポロ　時計台病院 社会医療法人社団カレスサッポロ　北光記念病院 医療法人社団　土田病院 医療法人美脳　札幌美しが丘脳神経外科病院
	地域・在宅看護論実習	地域・在宅看護論実習Ⅰ	1	30	1年次前期	社会福祉法人三草会 リハケアセンター篠路 グループホームもえれのお家 デイサービスきずな パン工房あんびしゃす 株)ツクイ　ツクイ札幌麻生 看護小規模多機能型居宅介護 就労支援施設B型事業所 就労支援センター　さくら 地域活動センター　ウッディ-トイズ
		地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90	3年次前期	医療法人社団棕櫚の会 ホサナファミリークリニック 医療法人ささえる医療研究所 ささえるクリニック岩見沢 ささえるクリニックきたひろ 社会医療法人関愛会 江別訪問診療所 社会医療法人三草会 訪問看護ステーションアシスト 訪問看護ステーションアシスト篠路 札幌東区第2地域包括支援センター
	成人看護学実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期～後期	社会医療法人　恵佑会第2病院 社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 医療法人社団明生会 イムス札幌消化器中央総合病院
		成人看護学実習Ⅱ	2	90	3年次前期	社会医療法人　恵佑会札幌病院
	老年看護学実習	老年看護学実習Ⅰ	2	90	2年次前期～後期	社会医療法人北海道恵愛会　札幌南一条病院 医療法人社団　土田病院 特定医療法人　柏葉脳神経外科病院 医療法人美脳　札幌美しが丘脳神経外科病院 社会医療法人鳩仁会　札幌中央病院 社会医療法人社団カレスサッポロ　時計台病院 社会医療法人社団三草会　クラーク病院 介護老人保健施設もえれパークサイド 介護老人保健施設　徳州苑　なえぼ
		老年看護学実習Ⅱ	2	90		
		老年看護学実習Ⅲ	2	90	3年次前期	医療法人社団　土田病院 社会医療法人北海道恵愛会　札幌南一条病院
	小児看護学実習	小児看護学実習	2	90	3年次前期	社会医療法人母恋　天使病院 小樽市立病院 医療法人稲生会　生涯医療クリニックさっぽろ 北海道済生会小樽病院 重症心身障がい児(者)施設　みどりの里 札幌愛隣舘保育園
	母性看護学実習	母性看護学実習	2	90	3年次前期	エナ・みらいグループ　エナレデースクリニック
	精神看護学実習	精神看護学実習	2	90	3年次前期	社会医療法人社団三草会千歳桂病院
	看護統合実習	看護統合実習	2	90	3年次後期	社会医療法人社団三草会　クラーク病院 社会医療法人北海道恵愛会　札幌南一条病院 医療法人社団　土田病院 社会医療法人　恵佑会札幌病院

学年年間計画

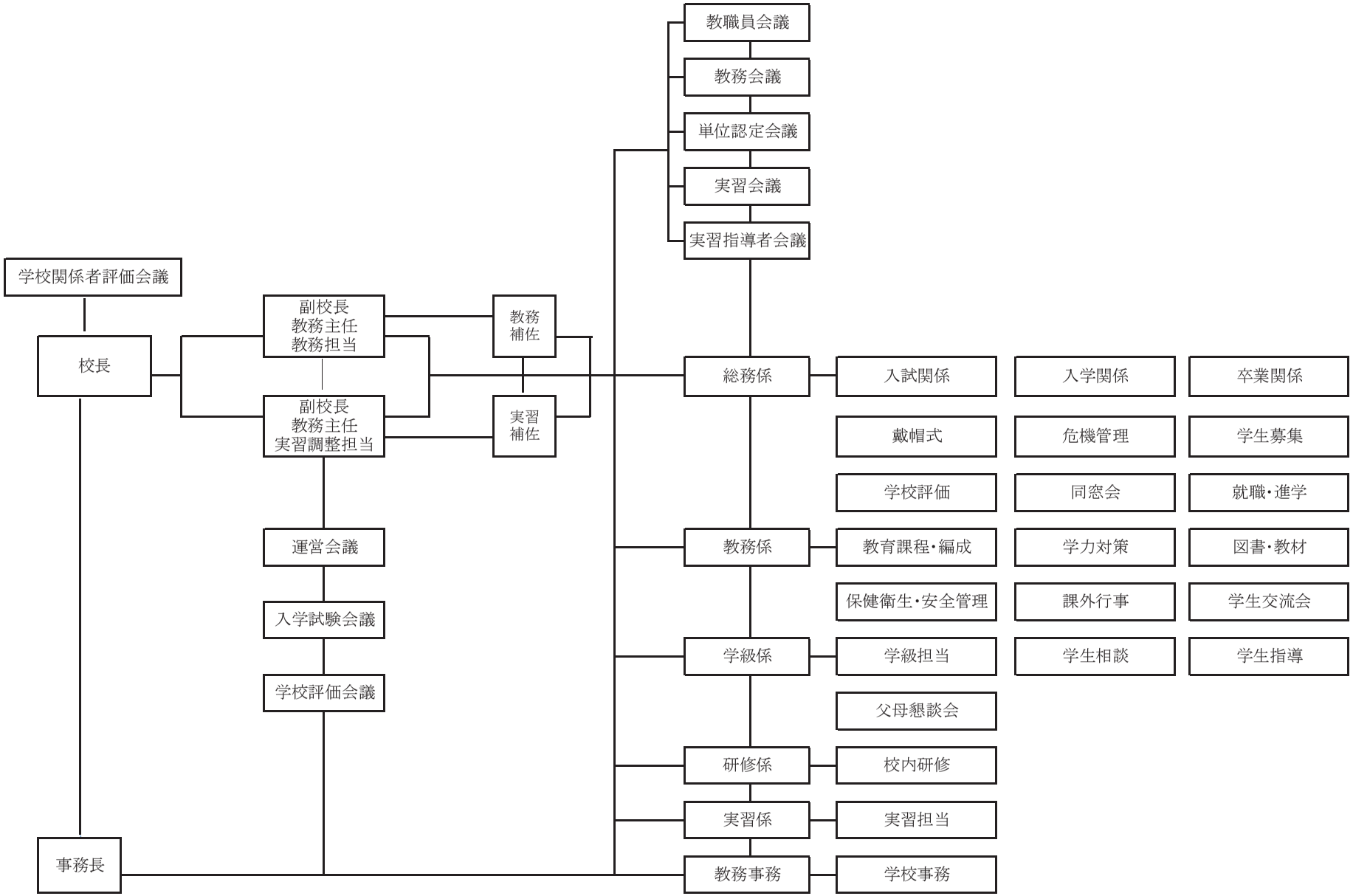
1　学　年		2　学　年		3　学　年	
月	内　容	月	内　容	月	内　容
4	入学式　　入学ガイダンス 新入生歓迎会 HR運営ガイダンス （学校生活、クラス役員選出） 各修学・奨学資金の説明 2・３年生実習激励会 東警察署防犯対策講話 個人情報保護法について講話 1年生間交流会 学力対策ガイダンス 学生の心構え　血液・XP撮影　計測	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス （年内計画、クラス役員選出） 新入生歓迎会 2・３年対象実習激励会 血液・XP・計測 前期学生の心構え 学生個人指導 学校検診(校医) さわ研究所国家試験ガイダンス 学力対策	4	各修学資金の継続手続き HR運営ガイダンス （年内計画、クラス役員選出） 新入生歓迎会　血液・XP・計測 学校健診(校医) 領域別実習ガイダンス 領域別臨地実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 学力対策　業者模擬試験 2・３年対象実習激励会
5	学生個人面談 看護の日　学内技術実習・演習 学校健診(校医) 学力対策 学生個人指導　避難訓練	5	基礎看護学実習Ⅱガイダンス 基礎看護学実習Ⅱ臨地実習 基礎看護学実習Ⅱ実習指導 基礎看護学実習Ⅱ実習報告会 学力対策　　看護の日 学生個人指導	5	看護の日　領域別実習指導 領域別臨地実習 領域別実習個人指導 国家試験業者模擬試験 就職相談・指導 学力対策　業者模擬試験
6	学生個人面談 学内技術実習・演習 遠足企画 学力対策	6	遠足企画 学生個人指導 学内技術実習・演習 看護研究導入　研究個人指導 学力対策	6	領域別実習指導 領域別実習個人指導 学力対策　業者模擬試験 就職相談・指導 領域別臨地実習
7	学生個人指導 学内技術実習・演習 戴帽式準備 1.2年合同遠足 学力対策	7	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策 1.2年合同遠足 看護研究個人指導	7	領域別臨地実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 国家試験業者模擬試験
8	後期学校生活心構え指導 戴帽式総練習　　戴帽式 地域・在宅看護論実習Ⅰガイダンス 地域・在宅看護論実習Ⅰ臨地実習 地域・在宅看護論実習Ⅰ指導 1年生実習激励会 学力対策　学生個人指導	8	学内技術実習・演習 後期学校生活心構え指導 学生個人指導 学力対策 1年生対象実習激励会 看護研究個人指導	8	領域別臨地実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 学力対策　業者模試 国家試験ガイダンス
9	学生個人指導 地域・在宅看護論実習Ⅰ報告会 札幌医科大学解剖標本館見学	9	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習ガイダンス 成人Ⅰ、老年Ⅰ、Ⅱ臨地実習 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 学生個人指導 看護研究個人指導	9	領域別臨地実実習 領域別実習個人指導 就職相談・指導 国家試験ガイダンス 学力対策　業者模試
10	防火訓練　学生個人指導 前期成績会議 父母懇談会企画実施 学内技術実習・演習　学力対策	10	成人Ⅰ、老年Ⅰ、Ⅱ臨地実習 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習指導 前期成績会議　　学生個人指導 看護研究個人指導	10	領域別臨地実実習 領域別実習個人指導 学力対策　業者模擬試験 就職相談・指導
11	学内技術実習・演習 学生個人指導 学力対策	11	成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ臨地実習 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習報告会 成人Ⅰ・老年Ⅰ・Ⅱ実習報告会 学生個人指導 学力対策 看護研究個人指導	11	父母懇談企画実施 看護統合実習ガイダンス 看護統合臨地実習 看護統合実習個人指導 学内技術実習・演習 血液セミナー 国家試験手続き 学力対策　業者模擬試験
12	看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導　学力対策	12	学生個人指導　父母懇談会企画実施 学内技術実習・演習 看護研究個別指導 学力対策　　業者模擬試験	12	看護統合臨地実習 看護統合実習個人指導 学力対策　業者模擬試験
1	看護過程演習 基礎看護学実習Ⅰガイダンス 基礎看護学実習Ⅰ実習指導 学内技術実習・演習 学生個人指導　学力対策	1	学力対策 学内技術実習・演習 看護研究個別指導	1	教員国家試験対策公開講座 教員・非常勤講師国家試験対策講義 学力対策　業者模擬試験
2	学校設立記念日 基礎看護学実習Ⅰ実習指導 基礎看護学実習Ⅰ報告会 看護過程演習 学内技術実習・演習 学生個人指導 修学資金借用提出	2	学校設立記念日 学内技術実習・演習 学生個人指導 修学資金借用提出 看護研究個別指導 業者低学年模擬試験	2	学校設立記念日 国家試験対策 卒業認定会議 保健師・助産師・看護師国家試験
3	国家試験低学年用業者模擬試験 就職ガイダンス 1年次単位認定会議 卒業特別講演　予餞会 各修学・奨学資金継続準備 低学年模擬試験 2年生看護研究葉表聴講	3	２年次単位認定会議 就職・国家試験ガイダンス 国家試験低学年用業者模擬試験 予餞会　卒業特別講演 各修学・奨学資金継続準備 看護研究発表 実習施設関係病院説明会	3	予餞会　卒業特別講演 卒業報告会 各修学・奨学資金卒業手続き 卒業式練習　同窓会説明 卒業式

令和6年度　年間行事予定一覧表

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	月		1	水		1	土		1	月		1	木		1	日		1	火		1	金		1	日		1	水	元旦	1	土	学校設立記念日	1	土	第6期生卒業式
2	火		2	木	2年生基礎看護学実習Ⅱガイダンス	2	日		2	火		2	金		2	月	1年地域・在宅看護論実習Ⅰ報告会	2	水		2	土	北海道看護研究学会 3年生	2	月		2	木	学校閉鎖日	2	日		2	日	
3	水	新3年生3/21～4/3(水)春休み	3	金	憲法記念日	3	月		3	水		3	土		3	火		3	木	1年生防火訓練	3	日	文化の日	3	火		3	金	学校閉鎖日	3	月	1年生基礎実習Ⅰ終了(～2/3)	3	月	卒業証明書事務局提出(提出日厳守)
4	木	新3年生始業日/3年生身体計測	4	土	みどりの日	4	火		4	木		4	日	2回目オープンキャンパス	4	水		4	金		4	月	振替休日	4	水		4	土		4	火		4	火	
5	金	3年生領域別全体実習ガイダンス	5	日	こどもの日	5	水		5	金	1．2年生合同遠足	5	月		5	木		5	土		5	火		5	木		5	日		5	水		5	水	
6	土	8期生入学式	6	月	振替休日	6	木		6	土		6	火		6	金	1年生札幌医科大学PM～標本館見学	6	日	4回目オープンキャンパス	6	水		6	金		6	月		6	木	3年生卒業認定会議	6	木	
7	日	新2年生3/25～4/7(日)春休み	7	火	2年生基礎看護学実習Ⅱ開始～5/24(金)	7	金		7	日		7	水		7	土	第3回オープンキャンパス	7	月		7	木		7	土		7	火		7	金		7	金	
8	月	入学ガイダンス/3年生施設別ガイダンス	8	水		8	土		8	月		8	木		8	日		8	火		8	金	3年生国家試験書類手続き	8	日		8	水		8	土		8	土	
9	火	入学ガイダンス/3年生 施設別ガイダンス	9	木		9	日		9	火		9	金		9	月		9	水		9	土		9	月	2年生父母懇談会開始	9	木		9	日	114回国家試験予定	9	日	
10	水	1年生白衣合わせ/防犯対策講話/3年生施設別ガイダンス	10	金	看護の日/1年生避難訓練	10	月		10	水		10	土		10	火		10	木		10	日		10	火		10	金	1．2年生冬季休暇終了(～1/12迄)	10	月		10	月	
11	木	3年生施設別ガイダンス/1年生身体計測	11	土		11	火		11	木		11	日	1年生夏季休暇終了	11	水		11	金		11	月	3年生父母面談会開始	11	水		11	土		11	火	建国記念日	11	火	
12	金	3年生健診/3年生実習激励会/新入生歓迎会	12	日		12	水		12	金		12	月	山の日	12	木		12	土		12	火		12	木		12	日		12	水		12	水	実習施設説明会
13	土		13	月		13	木		13	土	1回目オープンキャンパス	13	火	1年生始業日	13	金	2年生成人Ⅰ老年Ⅰ・Ⅱ実習ガイダンス	13	日		13	水		13	金	看護統合実習終了	13	月	成人の日	13	木		13	木	実習施設説明会
14	日		14	火		14	金		14	日		14	水		14	土		14	月	スポーツの日	14	木	国家試験書類完成/発送準備	14	土		14	火	1．2年生始業	14	金		14	金	2年生レントゲン血液検査
15	月	3年生領域別実習開始 （～10/4迄）	15	水	1年生学校健診	15	土		15	月	1年生夏季休暇開始（～8/11）海の日	15	木		15	日		15	火	1年生父母懇談会開始	15	金	2年生成人Ⅰ老年Ⅰ・Ⅱ実習終了	15	日		15	水		15	土		15	土	
16	火		16	木		16	日		16	火		16	金	戴帽式総練習	16	月	2年成人Ⅰ老年Ⅰ・Ⅱ実習開始11/15(金)迄 敬老の日	16	水		16	土	令和6年度一般入試(学科)	16	月	1．2年生冬季休暇開始（～1/12迄）	16	木		16	日		16	日	
17	水	1年生個人情報講話	17	金		17	月		17	水		17	土	1年生戴帽式	17	火		17	木		17	日	令和6年度一般入試(面接)	17	火		17	金	1年生基礎実習Ⅰガイダンス	17	月		17	月	
18	木		18	土		18	火		18	木		18	日	2年生夏季休暇終了	18	水		18	金		18	月		18	水		18	土		18	火		18	火	
19	金	2年生XP・血液検査	19	日		19	水		19	金		19	月	2年生始業日	19	木		19	土		19	火	2年生成人Ⅰ老年Ⅰ・Ⅱ実習報告会	19	木		19	日		19	水		19	水	
20	土		20	月		20	木		20	土		20	火		20	金		20	日		20	水	3年生特別講義血液セミナー	20	金		20	月	1年生基礎実習Ⅰ開始(～2/3)	20	木		20	木	春分の日
21	日		21	火	2年生基礎看護学実習Ⅱ終了～5/21(火)	21	金		21	日		21	水		21	土		21	月		21	木		21	土		21	火	3年生冬季休暇終了(～1/21)22開始	21	金		21	金	2.年春季休暇4/3迄
22	月	1年生間交流研修	22	水		22	土		22	月	2年生夏季休暇開始（～8/18）	22	木		22	日		22	火		22	金	3年生看護統合実習ガイダンス	22	日		22	水		22	土		22	土	
23	火		23	木		23	日		23	火		23	金	1年地域・在宅看護論実習Ⅰガイダンス/1年対象実習激励会	23	月	秋分の日	23	水		23	土	勤労感謝の日	23	月	3年生冬季休暇（～1/14）3週間	23	木		23	日		23	日	
24	水	2年生基礎看護学実習Ⅱガイダンス/2年生健診	24	金	2年生基礎実習Ⅱ報告会	24	月		24	水		24	土		24	火		24	木		24	日		24	火		24	金		24	月	天皇誕生日	24	月	1.年春季休暇4/6迄
25	木	2年生対象実習激励会	25	土		25	火		25	木		25	日		25	水		25	金	前期成績会議	25	月	看護統合実習開始（～12/13）	25	水		25	土		25	火		25	火	
26	金	1年生XP・血液検査	26	日		26	水		26	金		26	月	1年地域・在宅看護論実習Ⅰ開始～8/30(金)	26	木		26	土		26	火		26	木		26	日		26	水		26	水	
27	土		27	月		27	木		27	土		27	火		27	金		27	日	令和7年度推薦社会人入試	27	水		27	金		27	月	3年生冬季休暇（～2/4）1週間	27	木	卒業報告会/卒業式練習	27	木	1．2年生進級認定会議
28	日		28	火		28	金		28	日		28	水		28	土		28	月		28	木		28	土		28	火		28	金	卒式練習/特別講演 予餞会	28	金	
29	月	昭和の日	29	水		29	土		29	月		29	木		29	日		29	火		29	金		29	日		29	水					29	土	
30	火		30	木		30	日		30	火		30	金	1年地域・在宅看護論実習Ⅰ終了	30	月		30	水		30	土		30	月		30	木					30	日	
			31	金					31	水		31	土					31	木					31	火		31	金					31	月	

＜学校運営組織図＞

1. 校務分掌組織図



係りの重点目標

係	重点目標
総務係	・各係、各学年との連絡を密にして学務内容の充実、運営の円滑化を図る
教務係	・教育課程の適切な構成と運用を行い、各分掌や各学年間の連絡調整に努め、校務運用の円滑化を図る
学級係	・集団への適応力を高め協調性（協働による仲間作り）を養う ・授業規則と学習の習慣・定着をはかり、基礎学力の向上を図る ・集団生活を通して自己を認識させるとともに主体的規律ある生活習慣の確立を図る
実習係	・教育課程達成のため、各係及び各実習施設との連携を図り、適切な実習計画を立案し、実習に内容の充実を図る
教員研修係	・教育実践力を高め、教員の質向上を図る
教務事務	・各係と連携を図り、教務資料の準備、作成、整理、データ処理を行う

校務分掌担当教員

係名	責任者	教職員名
総務係	校長	藤原副校長(教務主任兼務・実習担当)　事務長 櫻井副校長(教務主任兼務・教務担当)
教務係	櫻井副校長 (教務主任兼務・教務担当)	藤原副校長(教務主任兼務・実習担当) 吉田教務補佐
学級係	櫻井副校長 (教務主任兼務・教務担当)	１年担任　成田　副担任　吉田　学年担当　浦島 ２年担任　三上　副担任　中村　学年担当　鎌田 ３年担任　齊藤　副担任　坂本　学年担当　櫻井副校長 原谷　中川　堺
実習係	藤原副校長 (教務主任兼務・実習担当)	櫻井副校長(教務主任兼務・教務担当) 齋藤実習補佐 成田　三上　坂本　吉田　鎌田　成田　浦島　中村 井上　佐々木　原谷　中川　堺
教員研修係	吉田教務補佐	齊藤実習補佐　坂本　三上　中村
教務事務	松田事務長	松井

校務分掌　業務分担

係り	責任者	業務	主幹	担当教員
総務係	校長	入学試験	校長	藤原　櫻井
		入学式	校長	藤原　櫻井　成田　吉田　浦島
		卒業式	校長	藤原　櫻井　齊藤　坂本
		戴帽式	校長	藤原　櫻井　成田　吉田　浦島
		危機管理	校長	藤原　櫻井　吉田　齊藤
		学生募集　広報活動	校長	藤原　櫻井　事務長　吉田　齊藤　三上
		就職･進学	校長	藤原　櫻井　齊藤　坂本
		同窓会	校長	藤原　櫻井　事務長
		学校評価	校長	藤原　櫻井　事務長　他全教職員
		学校関係者評価	校長	事務長
教務係	櫻井	教育課程編成	校長	藤原　櫻井　吉田　齊藤
		教育計画	校長	藤原　櫻井
		授業計画	櫻井	校長　藤原　専門分野は各看護学担当者
		学生便覧	櫻井	藤原　吉田
		学力対策 国家試験対策	藤原	櫻井　成田　三上　齊藤 他全教員
		図書・学生図書教材	成田	三上　齊藤　事務長
		保健衛生・安全管理	浦島	藤原　鎌田
		課外行事・学生交流会	坂本	吉田　鎌田　成田　中村
		就職・進学相談	校長	櫻井　齊藤　坂本
学級係	櫻井	学級担当　学生相談･学生指導	成田 三上 齊藤	吉田　浦島 中村　鎌田 坂本
		時間割調整	櫻井	成田　三上　齊藤　藤原　吉田
		父母懇談	櫻井	成田　三上　齊藤
実習係	藤原	臨地実習要綱 臨地実習指導要綱 各臨地実習会議企画 臨地実習関係書類作成	藤原	齊藤
		各看護学実習要綱 各看護学実習指導要綱		基礎看護学・看護統合担当　藤原 地域・在宅看護論担当　櫻井 成人看護学担当　三上 老年看護学担当　齊藤 小児看護学担当　坂本 母性看護学担当　吉田 精神看護学担当　鎌田
教員研修係	吉田	校内研修	三上	坂本　中村　齊藤
教務事務係	事務長	教務事務	事務長	松井

領域別看護学担当教員及び業務マトリックス

		校長	藤原	櫻井	三上	齊藤	吉田	坂本	鎌田	成田	浦島	中村	事務
科目の担当領域			基礎看護学 看護の統合と実践 （基礎看護技術）	地域・在宅看護論 （基礎看護技術）	成人看護学 （基礎看護技術）	老年看護学 （基礎看護技術）	母性看護学 （基礎看護技術）	小児看護学 （基礎看護技術）	精神看護学 （基礎看護技術）	成人看護学 （基礎看護技術）	成人看護学 （基礎看護技術）	老年看護学 （基礎看護技術）	
総務係	入試	☆ ◎	○	○									○
	入学	☆ ◎	○	○			○			○	○		○
	卒業	☆ ◎	○	○		○		○					○
	戴帽式	☆ ◎	○	○			○			○	○		○
	危機管理	☆ ◎	○	○		○	○						○
	学生募集	☆ ◎	○	○	○	○	○						○
	就職・進学	☆ ◎	○	○		○		○					○
	同窓会	☆ ◎	○	○									○
	学校評価	☆ ◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校関係者評価	☆ ◎											○
教務係	教育課程編成	◎	○	☆ ○		○	○						○
	教育計画	☆ ◎	○	○									
	授業計画	○	○	☆ ◎									○
	学生便覧		○	☆ ◎			○						
	学力対策（国家試験を含）		◎	☆ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	図書・教材			☆	○	○				◎			○
	保健衛生・安全管理		○	☆					○		◎		○
	課外行事・学生交流会			☆			○	◎	○	○		○	○
	就職・進学相談	◎		☆ ○		○		○					
学級係	学級担当　学生相談・指導			☆	◎2学年 担任	◎3学年 担任	1学年 副担任	3学年 副担任		◎1学年 担任		2学年 副担任	○
	時間割調整		○	☆ ◎	○	○	○			○			
	父母懇談			☆ ◎	○	○				○			○
実習係	実習担当		☆ ◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教員研修係	校内研修・研究グループ				◎	○	☆	○				○	

☆印は責任者　◎印は主幹　○は担当者

5期生　　看護研究

担当教員	学生氏名	テーマ
藤原　未央	髙橋　美夢	急変し積極的治療を受けられなくなった対象の思い ―温かいおしぼりを渡した援助からの考察―
	坂田　幸大	認知症がある高齢者が安楽と感じる看護とは ―パーソンセンタードケアの視点からの考察―
櫻井　美奈子	三上　凛胡	カンフォーダブルケアで関わる認知症者への看護
	岡村　未桜	悩みや不安を表出してもらうための看護 ―がん患者との関りを通して学んだこと―
齊藤　まどか	川岸　万莉	終末期の患者の心情に寄り添う看護とは ―社会的孤立感・死を訴える患者の看護―
	木戸　悠月	セルフケア意欲が低下している対象との関り ―セルフケアの向上に向けた援助―
	中村　俊彦	禁煙が必要な患者に対する看護
三上　麻美	斉藤　愛佳	不穏状態のある認知症患者への看護 ―ユマニチュードケアを用いた看護介入の効果―
	安達　花	咽頭がん全摘術を行った患者への看護 ―壮年期の対象への退院支援を振り返る―
	片島　千捺	抗がん剤の副作用がある患者との関わり
中村　恵子	大塚　七星	見守りの強化に対し不満を抱える高齢者との関わり ―転倒リスクの高い患者への適切な看護―
	垣屋　莉菜	見当識障害がある対象に行動変容をもたらした看護 ―同じ不満を訴え続ける対象の関わり―
	外崎　たまみ	習慣化につながる対象理解 ―急性心筋梗塞患者に対する再発防止のための食事指導―
坂本　容子	石橋　幸斗	信頼関係構築のためのコミュニケーション ―麻痺側の管理が出来ていない患者へのアプローチ―
	杉野　ゆずき	認知症の高齢者とコミュニケーション ―失禁がある対象への関わり考える―
	三河　喜美	信頼関係を構築するための患者理解 ―隔離環境にある対象とのコミュニケーションからの一事例―
	十亀　愛優	その人に寄り添った看護とは ―掻痒感の強い患者への援助の振り返りから―
鎌田　たまみ	早川　舞桜	ADLが自立している対象の看護 ―自己効力感を生かした支援を考える―
	富士道　杏美	がん患者を支える看護 ―がん患者とのコミュニケーションの取り方―
	山田　桃子	老年期における退院支援について
成田　淳人	小林　桃花	高次機能障害の高齢者との関わり方 ―対象のニード把握のためのコミュニケーション方法―
	江口　香	転倒指導に対して拒否的反応がみられた高齢者との関わり ―危機理論に沿って、患者の反応と自己の関わりを振り返る―
	蓮見　優奈	信頼関係を構築するための関わり方 ―ADL自立度の高い患者の退院後の本当の希望―

担当教員	学生氏名	テーマ
浦島　愛佳	川守田　真里亜	認知症患者とのかかわり ―1人1人に合わせた関わりを行うことの大切さ・回想法による効果―
	小助川　凌季	活動意欲が低下している対象への関わり方 ―活動意欲を向上させる声掛けやコミュニケーション―
	吉住　吏緒	看護援助に拒否がある患者との関わり方 ―援助の糸口を見つけるコミュニケーション方法―
井上　里織	森脇　佳南	心臓カテーテル検査を受けた患者との関わり ―不安を抱える患者への具体的な看護―
	上原　亜莉朱	高齢者への退院指導 ―個別性・発達段階に合わせた退院指導の工夫―
	佐藤　綾香	日中の覚醒を促す看護を通して ―傾眠傾向にある認知症高齢者への関わりを振り返る―
	早坂　竜人	患者の希望を看護ケアに取り入れた関わり ―車椅子移乗で回復意欲を高める看護―
原谷　珠美	宮本　妃	患者中心のケアとはなにか ―ケアの拒否に込められた意味―
	阿部　ここの	めまいや嘔気によって行動拡大が遅延していた独居高齢者への かかわり―自宅退院の思いを支える看護―
	鈴木　悠太	足趾切除後の不安定な精神状態の患者との信頼関係の構築 ―重症下肢虚血患者の自立を尊重するかかわり―
	大関　桃子	COPDによる呼吸苦のある患者のADL維持に向けた関わり ―長期入院患者のQOL向上に働きかける看護―
吉田　かつえ	佐藤　珠優	緩和ケアを受ける患者とその家族への看護 食道胃接合部がんで余命宣告を受けた患者とその家族を支える関わり
	前田　栞	糖尿病患者の食事指導 ―ロールプレイによる実践と効果―
	村田　美紅	認知症患者への排泄行動ケア ―排泄誘導の判断基準について振り返る―

出身校別状況　　（順不同）

	高等学校名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生
1	札幌北斗	1	1	1	4	2	3		2
2	石狩翔陽		1		2	2	3	3	2
3	札幌英藍	1	3	1		6	1	1	1
4	石狩南			2	2	2	2	1	3
5	札幌東陵		1	1	2	1	2	2	1
6	札幌稲雲		2	1	1	3	2		1
7	札幌創成	2	2		2		1	1	1
8	札幌北陵	1	5	1			1	1	
9	札幌手稲	2	2			1		2	
10	札幌西陵	1	3	2	1				
1	北海道科学大学					2	2		2
12	小樽桜陽	1		1	1	1			2
13	札幌啓北商業	1	1	1			2		1
14	札幌平岸	1	1		1		1	2	
15	北海学園札幌				1		1	2	1
16	札幌山の手	1	2					1	1
17	札幌清田		1	2			1		1
18	札幌丘珠	1	1	1	1				1
19	札幌白石	2		1		2			
20	札幌藻岩	1	1	1	1	1			
21	苫小牧南							3	1
22	別海				1	1		1	1
23	札幌真栄	1	1	1					1
24	とわの森三愛			1			1	2	
25	札幌あすかぜ(旧稲西)			1			2	1	
26	札幌厚別			2		1		1	
27	札幌東商業			1	1	2			
28	札幌国際情報				4				
29	小樽水産							1	2
30	小樽未来創造						1	1	1
31	札幌北		1			1		1	
32	札幌啓成	1			1			1	
33	札幌日本大学高校	1	1				1		
34	北星学園女子				2	1			
35	江別	1		1		1			
36	札幌新川	1	1			1			
37	恵庭北			1	2				
38	東海大札幌		1	1	1				
39	倶知安							1	1
40	日本放送協会学園							2	
41	岩見沢西			1				1	
42	檜山北		1				1		
43	寿都		1				1		
44	小樽双葉		1				1		
45	札幌光星	1					1		
46	岩見沢緑陵				1	1			
47	札幌静修	1				1			
48	北見藤	1				1			
49	北広島西			1	1				
50	札幌龍谷	1			1				
51	千歳	1			1				
52	札幌大谷	1		1					
53	滝川西	1	1						
54	帯広大谷								1
55	旭川東栄								1
56	中標津								1
57	札幌聖心女子								1
58	室蘭清水丘								1
59	函館商業								1

高等学校名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
		1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生
60	留萌							1	
61	根室							1	
62	池上学院							1	
63	広尾							1	
64	北海道文教大学付属							1	
65	聖隷クリストファー							1	
66	北海							1	
67	函館西							1	
68	有明							1	
69	青森山田						1		
70	飛鳥未来						1		
71	大麻						1		
72	小樽商業						1		
73	札幌大通						1		
74	札幌工業						1		
75	札幌琴似工業						1		
76	札幌白陵						1		
77	秋田県立雄物川						1		
78	北海					1			
79	札幌平岡					1			
80	室蘭商業					1			
81	釧路商業					1			
82	釧路東					1			
83	剣淵					1			
84	厚真				1				
85	旭川農業				1				
86	恵庭南				1				
87	登別明日				1				
88	中京女子大附属				1				
89	北星学園大学附属			1					
90	旭川西			1					
91	旭川永嶺			1					
92	音更			1					
93	帯広南商業			1					
94	滝川			1					
95	浦河			1					
96	紋別			1					
97	国立苫小牧工業高等専門			1					
98	遺愛女子			1					
99	青森弘前工業			1					
100	相生学院			1					
101	有朋		1						
102	立命館慶祥		1						
103	妹背牛商業		1						
104	名寄		1						
105	札幌新陽	1							
106	札幌東	1							
107	北海道文教大学明清	1							
108	旭川実業	1							
109	旭川龍谷	1							
110	野幌	1							
111	市立函館	1							
112	帯広北	1							
113	奥尻	1							
114	北海道栄	1							
115	鹿追	1							
116	千葉県立我孫子	1							
117	その他								1
計		40	40	40	40	40	40	41	34

就職・進学状況

（順不同）

卒業年		2020	2021	2022	2023	2024
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
北海道内	恵佑会札幌病院	1	1	7	3	2
	北光記念病院	3	2	2	4	2
	柏葉脳神経外科病院	3	1	4	3	1
	札幌中央病院	1	3	2	1	3
	時計台記念病院	2	2	1	1	4
	札幌東徳洲会病院	3		2	2	2
	イムス札幌消化器中央総合病院	2	2		2	2
	愛全病院	1	2	2	1	
	札幌南一条病院	2	1	2		1
	土田病院			1	1	2
	手稲渓仁会病院	2			1	
	北海道大野記念病院	1	2			
	ＪＲ札幌病院	2	1			
	北海道大学病院			1	1	1
	道立 子ども総合医療・療育センター		1	1		1
	天使病院		1	1		
	札幌清田病院	1	1			
	札幌真駒内病院				1	
	勤医協苫小牧病院				1	
	札幌北辰病院				1	
	JCHO北海道病院			1		
	KKR札幌医療センター			1		
	愛育病院			1		
	札幌禎心会病院			1		
	東札幌病院			1		
	NTT東日本 札幌病院		1			
	国立 北海道医療センター		1			
	定山渓病院		1			
	札幌市立病院		1			
	札幌整形循環器病院		1			
	クラーク病院		1			
	北海道整形外科記念病院		1			
	町立別海病院					1
	札幌西円山病院	1				

（順不同）

卒業年		2020	2021	2022	2023	2024
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
北海道内	札幌徳洲会病院					4
	小樽市立病院		1		2	
	国立病院機構帯広病院	3				
	済生会小樽病院		1		1	1
	江別市立病院	1		1		1
	渓和会江別病院	1		1		1
	石狩病院				1	
	名寄市立総合病院				1	
	倶知安厚生病院				1	
	帯広協会病院			1		
	帯広厚生病院			1		
	慶愛病院		1			
	市立千歳市民病院	1				
	札幌心臓血管クリニック					1
	ｻｰﾋﾞｽ付高齢者住宅ﾗｲﾌｼｯﾌﾟ大麻					1
	札幌秀友会病院					1
	済生会小樽病院 重症心身障がい児(者)施設みどりの里					1
	市立室蘭総合病院					1
	製鉄記念室蘭病院	1				
道外	日本医科大学付属病院		1		1	
	東京慈恵会医科大学附属病院		1		1	
	昭和大学病院		2			
	千葉県救急医療センター	2				
	西湘病院				1	
	昭和大学藤が丘病院				1	
	成田赤十字病院			1		
	相武病院			1		
	北里大学病院			1		
	東京都東医療センター	1				
	東京都健康長寿医療センター	1				
	東京西徳洲会病院					1
	埼玉県森林病院	1				
合計		37	34	38	33	35

【入学在籍状況】　（単位：人）

期	1期生			2期生			3期生			4期生			5期生			6期生			7期生		
年	2017	退学	卒業	2018	退学	卒業	2019	退学	卒業	2020	退学	卒業	2021	退学	卒業	2022	退学	卒業	2023	退学	卒業
区分	入学			入学			入学			入学			入学			入学			入学		
全体数	40	3	37	40	4	36	40	3	37	40	7	33	40	2	37	40	7		40	1	
うち男子	4	0	4	2	0	2	2	0	2	5	1	4	6	0	6	6	3		6	0	

【看護師国家試験結果状況】

年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国家試験回数	109回	110回	111回	112回	113回
全国合格率	89.2%	90.4%	91.3%	90.8%	87.8%
看護師養成校(新卒)	94.7%	95.4%	96.5%	95.5%	93.2%
本校合格率	91.9%	94.1%	94.7%	97.1%	97.2%

【2023年度　専任教員年間研修・研究実績】

1.　事例検討会　学会報告会

月	内容
5	1.授業研究
6	1.授業研究
3	1.年間研修計画領域別学会・研修会参加報告会　　2.学生に関する事例

2.　教育実習受入状況

月	内容
10	北海道専任教員養成講習会

3.　各領域別学会参加研修

主催／学会名	領域	参加教員
日本看護学教育学学会　第32回学術集会	基礎看護学	藤原　未央
日本看護協会　日本看護学学術集会	地域・在宅看護論	櫻井　美奈子
日本母性看護学会　第25回学術集会	母性看護学	吉田　かつえ
日本看護技術学会　第21回学術集会	老年看護学	齊藤　まどか
日本看護協会　日本看護学学術集会	成人看護学	三上　麻美
日本小児看護学会　第32回学術集会	小児看護学	坂本　容子
日本看護協会　日本看護学学術集会	精神看護学	鎌田　たまみ
日本看護学教育学会　第32回学術集会	成人看護学	井上　里織
日本看護学教育学会　第32回学術集会	成人看護学	成田　淳人
日本看護学教育学会　第32回学術集会	成人看護学	浦島　愛佳
日本看護科学学会　第43回学術集会	老年看護学	中村　恵子

4.　日本看護学校協議会／北海道看護教育施設協議会

主催／研修名	参加教員	
北海道看護教育施設協議会　新任看護教員研修（５日間）	成田　淳人	浦島　愛佳
北海道看護教育施設協議会　中堅看護教員リーダーシップ研修	吉田　かつえ	齊藤　まどか
日本看護学校協議会　中堅看護教員スキルアップ研修会（４月～２月）	吉田　かつえ	齊藤　まどか